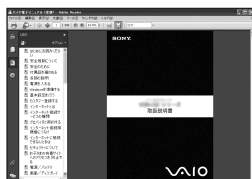
SONY®

パーソナルコンピューター

VGN-G2 シリーズ
取扱説明書

付属マニュアル一覧

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

バイオの画面で見るマニュアル

■ バイオ電子マニュアル

「スタート」メニューから［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

➡ バイオ使用上、必要な情報を記載しています。

■ 重要なお知らせ

「スタート」メニューから［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

➡ バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

■ ヘルプ

各ソフトウェアのヘルプメニューから、それぞれのヘルプを起動する。

➡ 付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
セキュリティ
増設／バックアップ／リカバリ
困ったときは／サービス・サポート
注意事項

パーソナルコンピューター

VGN-G2 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

この説明書で使われているイラストについて

この説明書で使われているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
この説明書で説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。

この説明書で表記されている名称について

- 搭載モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。たとえば「アナログテレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、アナログテレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- 付属モデル
  この説明書では、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。たとえば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」(230ページ)をご覧ください。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

セキュリティ

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたについては55ページをご覧ください。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：
PCG-5H5N、PCG-5H6N、PCG-5H7N、PCG-5H8N

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

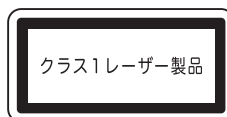
この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について（ディスクドライブ搭載モデル）

- 本製品は、レーザーに関する安全基準（JIS･C-6802）クラス1に適合しています。
  本体底面に下記適合ラベルを表示しています。

  クラス1レーザー製品

- 本製品に内蔵している光ディスクドライブについて修理が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
  お客様ご自身で本体からドライブを取りはずしたり分解することは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
  本機のキーボードを取りはずすと、下記注意ラベルを表示しています。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B EN CAS D'OUVERTURE. EVITER TOUTE EXPOSITION DIRECTE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN GEÖFFNET. DIREKTEN KONTAKT MIT DEM STRAHL VERMEIDEN.
注意	ここを開くとクラス３B可視放射および不可視レーザ光が出る。 ビームに人体をさらさないこと。
危险	拆开时会产生可视和不可视的3B类激光辐射。请避免光束照射。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIO カスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN 機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧下さい。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー/ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はエネルギースター規格に基づいて設計されており、次の省電力設定で出荷されています。

- 約15分操作をしないと自動的に液晶ディスプレイの電源を切る。
- 約30分操作をしないと自動的にスタンバイに移行する。

元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：
（03）3447-9100
受付時間：10：00～17：00
（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に古紙70％以上の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この説明書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載される機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがございます。あらかじめご了承ください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

13～19ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても、記録内容の補修や修復は致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

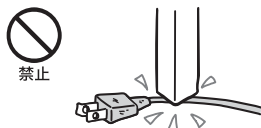
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける／はずす」（116ページ）に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込む

指示

ウォールマウントプラグアダプタがACアダプタとコンセントの両方にしっかり差し込まれていないと、発熱による火災や感電の原因となることがあります。

ウォールマウントプラグアダプタを他のACアダプタに使用しない

禁止

ウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。
本機以外では使用しないでください。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク（LAN）ケーブルを抜いてください。
また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

禁止

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以内で使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

ワイヤレススイッチを「OFF」に合わせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

禁止

5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

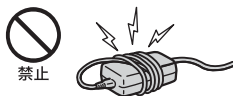
排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

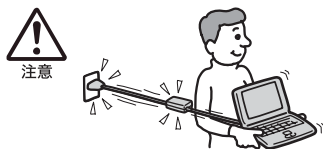
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

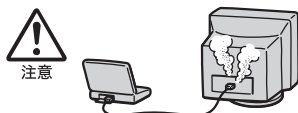
本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- この説明書に記載するまたはソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

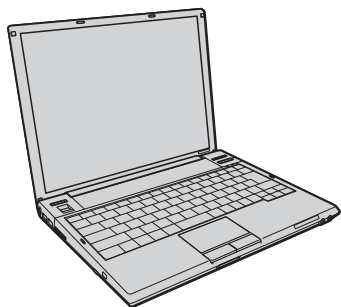
本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

はじめに

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

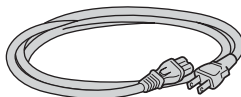
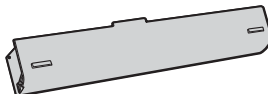
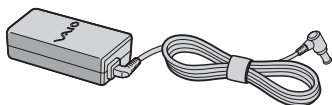
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❏ パソコン本体

❏ ACアダプタ

❏ ウォールマウントプラグアダプタ

❏ 電源コード

❏ バッテリ

説明書・その他

- ❑ **取扱説明書**
- ❑ **保証書**
- ❑ **VAIOカルテ**
- ❑ **その他パンフレット類**

  大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

- ❑ **Microsoft® Office Personal 2007*1 プレインストールパッケージ**

  (「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

- ❑ **Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 プレインストールパッケージ**

  (「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

- ❑ **Microsoft® Office Professional 2007*3 プレインストールパッケージ**

  (「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(214ページ)をご覧ください。

*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。

*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。

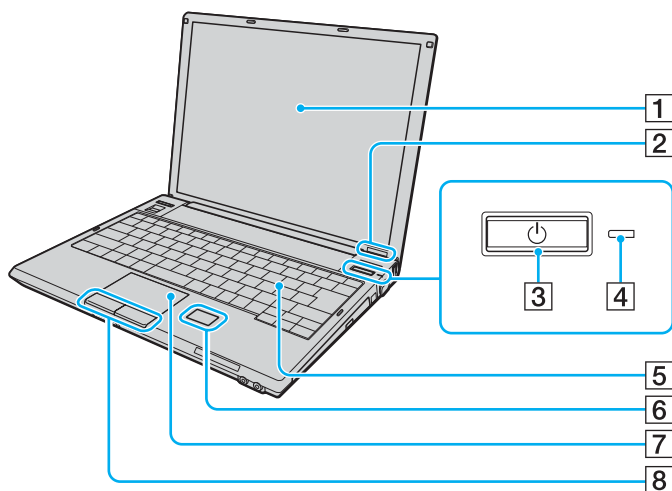
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(213ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
  詳しくは「リカバリディスクを作成する」(128ページ)をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。
詳しい説明については、(　)内のページまたは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

本体正面

1 **液晶ディスプレイ(159、219ページ)**

2 **IDラベル**
型名が記載されています。

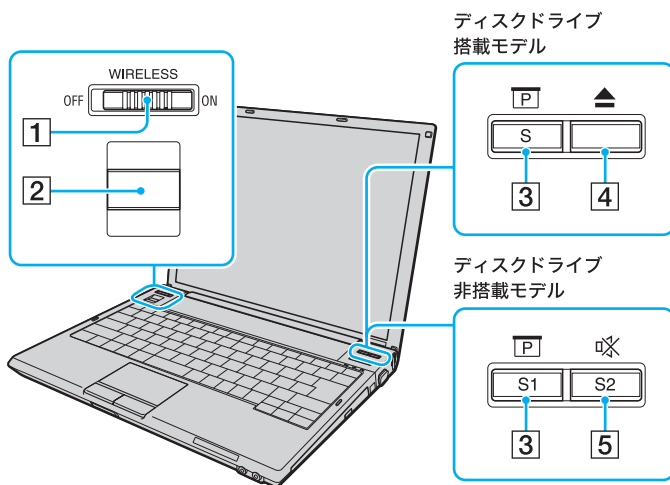
3 **⏻(パワー)ボタン(37ページ)**

4 **⏻(パワー)ランプ(37ページ)**
電源が入ると点灯(グリーン)します。スタンバイ時には点滅(オレンジ)します。

5 **キーボード(31、161ページ)**

6 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー/ライター)**
(FeliCa機能搭載モデルのみ)
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

7 **タッチパッド(164ページ)**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

8 **左/右ボタン**
マウスの左/右ボタンに相当します。

1 **WIRELESSスイッチ**

ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン／オフします。

2 **指紋センサー（87ページ～）**

（指紋センサー搭載モデルのみ）
指紋情報を入力することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

3 **P（プレゼンテーション）ボタン**

プレゼンテーションモードをオン／オフします。
このボタンに割り当てられている機能を変更することもできます。

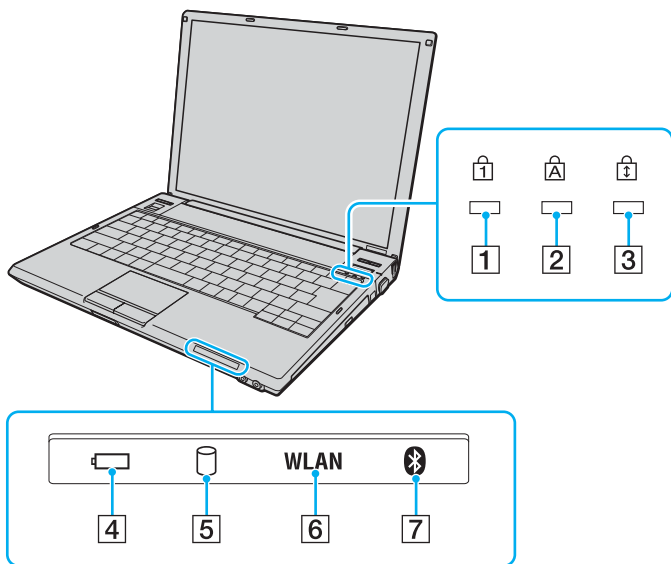
4 **⏏（イジェクト）ボタン**

（ディスクドライブ搭載モデルのみ）
本機を起動し、Windowsにログオンした後に使えます。
通常、ディスクを入れる／取り出す場合はこのボタンをお使いください。

ヒント

このボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してください。（28ページ）

5 **（消音）ボタン**

（ディスクドライブ非搭載モデルのみ）
スピーカーやヘッドホンなどの音声を入／切します。
このボタンに割り当てられている機能を変更することもできます。

1 (Num Lock)ランプ(31ページ)
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

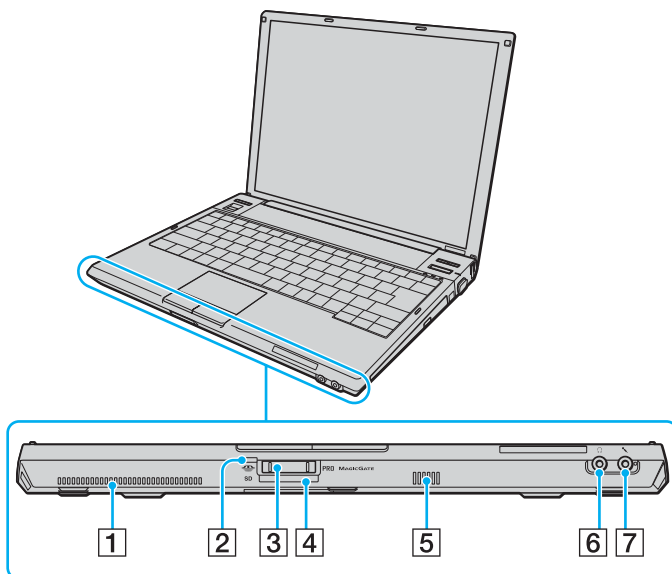
2 (Caps Lock)ランプ(31ページ)
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

3 (Scroll Lock)ランプ(31ページ)
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

4 (バッテリ)ランプ
バッテリの動作状態をお知らせします。

5 (ハードディスク)アクセスランプ
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに点灯します。

6 WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ
ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

7 (Bluetooth)ランプ
Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

1 **吸気口**

2 **メモリーカードアクセスランプ**

“メモリースティック”やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

3 **メモリースティックスロット（221ページ）**

“メモリースティック”を挿入します。
“メモリースティック デュオ”もそのままお使いになれます。

4 **SDメモリーカードスロット**

SDメモリーカードを挿入します。

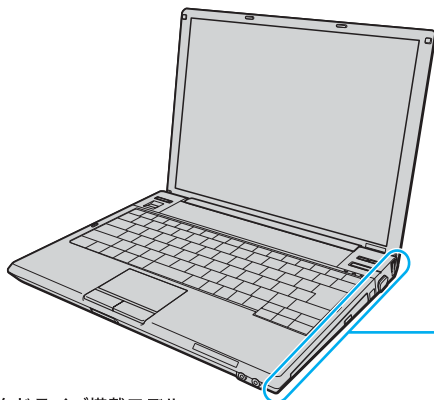
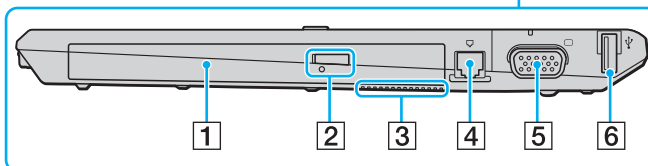
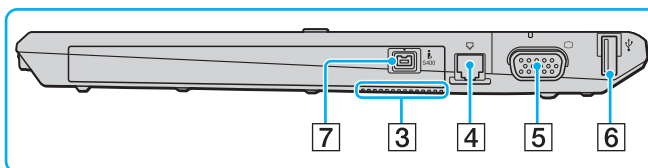
5 **内蔵スピーカー**

6 **🎧（ヘッドホン）コネクタ**

スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

7 **🎤（マイク）コネクタ**

マイクをつなぎます。（ステレオ対応）
ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右下に突起がついています。
マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

本体右側面

1 **DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)**
(ディスクドライブ搭載モデルのみ)
DVDスーパーマルチドライブは、以降ドライブと略します。

2 **ドライブ イジェクトボタン、ドライブ アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴**
(ディスクドライブ搭載モデルのみ)

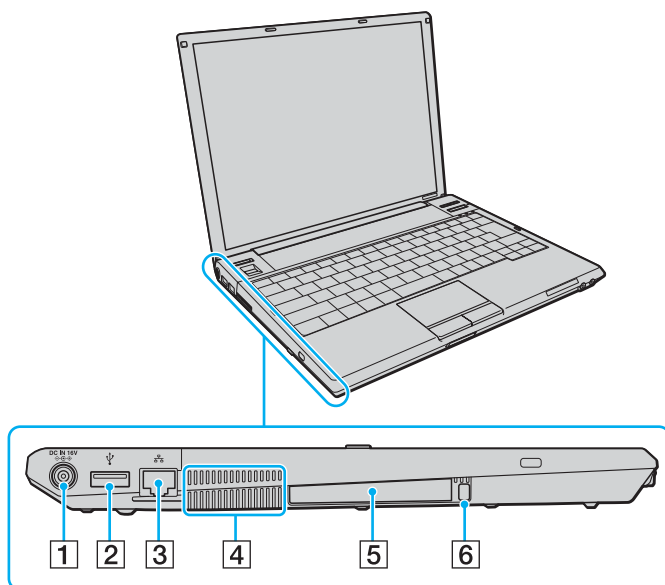
3 **吸気口**

4 **(モジュラジャック)(64ページ)**
電話回線をつなぎます。

5 **(モニタ)コネクタ**
外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

6 **(USB)コネクタ(175ページ)**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

7 **S400(i.LINK)コネクタ**
(ディスクドライブ非搭載モデルのみ)
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

本体左側面

1 **DC IN 16V ⟐⊖⟐ コネクタ（36ページ）**
ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

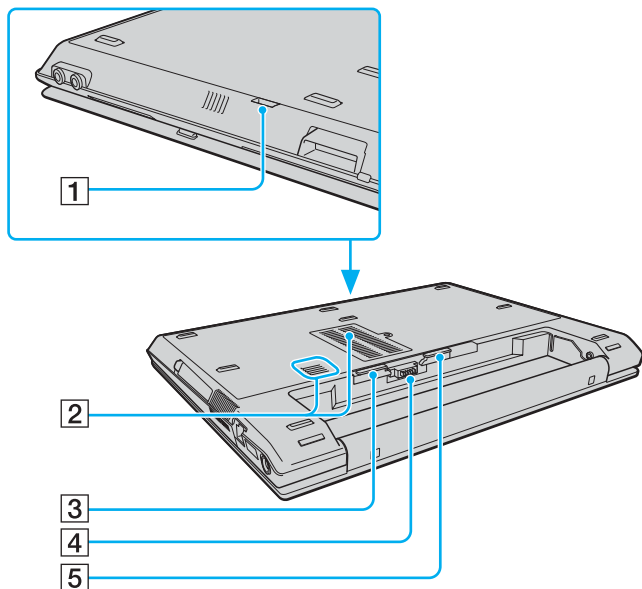
2 **(USB)コネクタ（175ページ）**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

3 **LANコネクタ（63ページ）**
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

4 **排気口**

5 **PCカードスロット（223ページ）**

6 **PCカード イジェクトボタン**
PCカードを取り出します。

本体底面

1 **水抜き穴**（218ページ）

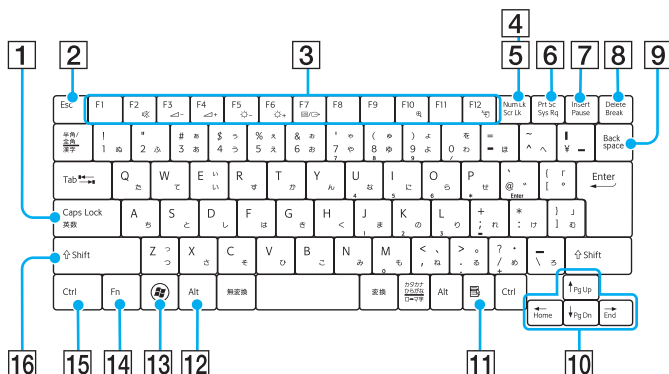
2 **吸気口**

3 **ロックレバー**（34ページ）
バッテリをロックします。

4 **バッテリコネクタ**

5 RELEASE**（リリース）レバー**
バッテリを取りはずします。

キーボード

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 Caps Lock(キャプスロック)キー

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右上にある (Caps Lock)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

もう一度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、 (Caps Lock)ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

2 Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 Num Lk(ナムロック)キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右上にある (Num Lock)ランプが点灯します。もう一度Num Lkキーを押すと、消灯します。

5 Scr Lk(スクロールロック)キー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの右上にある (Scroll Lock)ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、消灯します。

6 Prt Sc(プリントスクリーン)キー

表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

7 Insert(インサート)キー

文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

8 **Delete（デリート）キー**

カーソルの右側の文字を消します。

9 **Backspace（バックスペース）キー**

カーソルの左側の文字を消します。

10 **矢印キー**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

11 **アプリケーションキー**

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

12 **Alt（オルト）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

13 **Windows（ウィンドウズ）キー**

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

14 **Fn（エフエヌ）キー**

キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

15 **Ctrl（コントロール）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。

メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

16 **Shift（シフト）キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

本機をセットアップする

ステップ1:	**電源を入れる**

ステップ2:	**Windowsを準備する**

ステップ3:	**基本設定を行う**

ステップ4:	**カスタマー登録する**

ステップ1：
電源を入れる

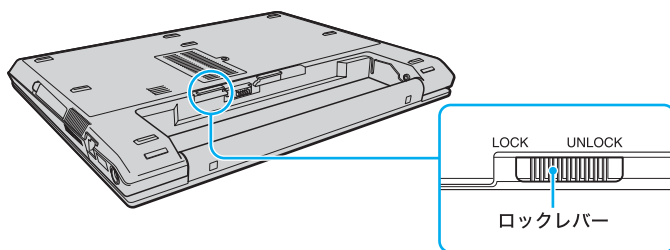
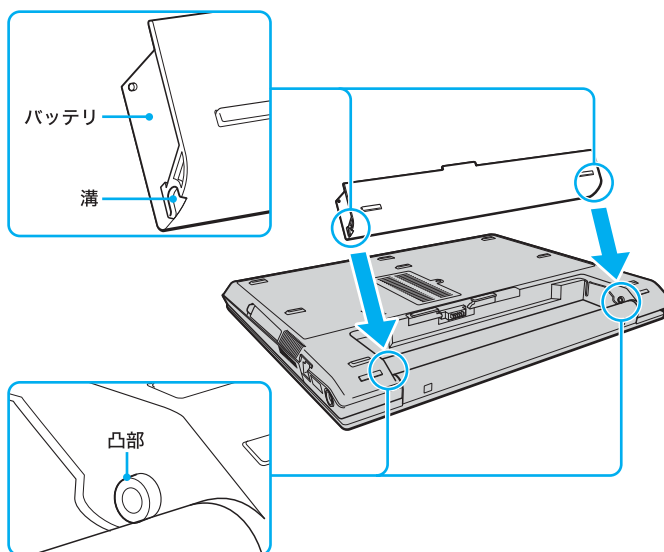
次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

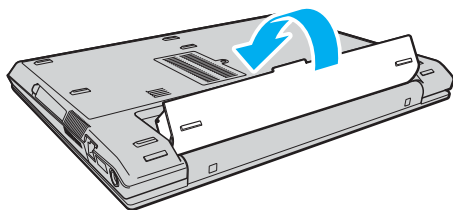
！ご注意
安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリおよびACアダプタをご使用ください。

1 バッテリを取り付ける。

停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。

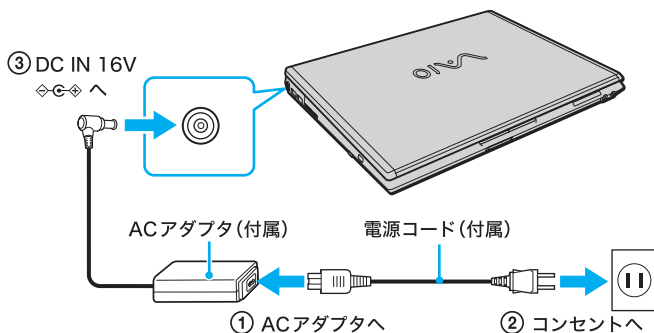
① 液晶ディスプレイを閉じる。

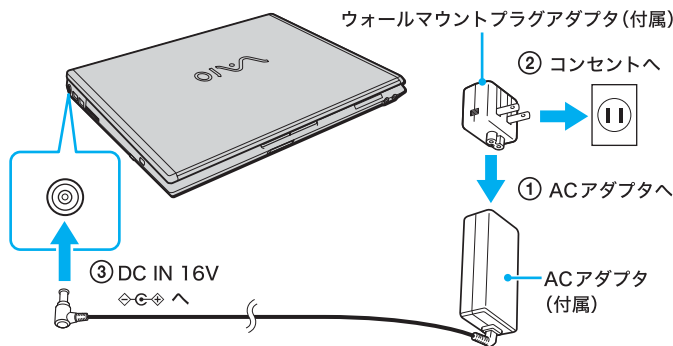
② 本体底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。

③ 本体底面のバッテリ取り付け部両端の凸部とバッテリ両端の溝をあわせる。

！ご注意
バッテリを取り付ける際には、液晶ディスプレイにバッテリをぶつけないようにご注意ください。

④ バッテリを矢印の方向に回転させながら倒す。
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

⑤ ロックレバーを内側（LOCK側）へずらして、バッテリを固定する。

2 AC電源をつなぐ。

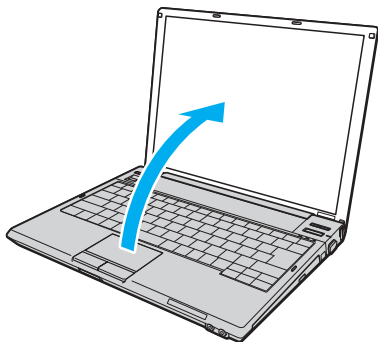
本機と壁のACコンセントを接続します。

電源コードを使用する場合

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
③ ACアダプタのプラグを、本体左側面のDC IN 16V コネクタに差し込む。

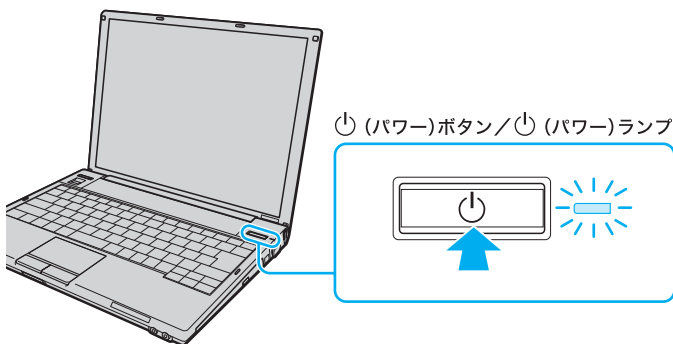
ウォールマウントプラグアダプタを使用する場合

① ウォールマウントプラグアダプタをACアダプタに差し込む。
② ウォールマウントプラグアダプタのプラグを壁のコンセントに差し込む。
③ ACアダプタのプラグを、本体左側面のDC IN 16V コネクタに差し込む。

！ご注意

- ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込んでください。
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。本機以外では使用しないでください。

3 ディスプレイパネルを開く。

4 ⏻(パワー)ボタンを押し、⏻(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

!ご注意
4秒以上⏻(パワー)ボタンを押したままにすると、電源は入りません。
⏻(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。

!ご注意

- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本体前面のランプ付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スタンバイ(お買い上げ時の設定)に移行します。
  本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「MicrosoftWindowsへようこそ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(40ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「セキュリティについて」(67ページ)をご覧ください。

2回目以降に電源を入れるときは

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。
  画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

ヒント

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン*を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スタンバイへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン*を一瞬押してください。
* ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 メニューの[終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 [電源を切る]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
- パフォーマンス設定を変更する
  以下の手順で通常の動作時の消費電力について設定します。

  1) [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。
     「バイオの設定」画面が表示されます。
  2) [電源・バッテリ]をダブルクリックする。
  3) [パフォーマンス設定]をダブルクリックする。
     設定画面が表示されます。
  4) [メモリバス 400MHz - 省電力を優先します。]を選択する。
     お買い上げ時は、[メモリバス 533MHz - パフォーマンスを優先します。]が選択されています。
  5) [OK]をクリックする。
     確認画面が表示されます。
  6) [はい]をクリックする。

  !ご注意
  設定を有効にするには、本機を再起動する必要があります。

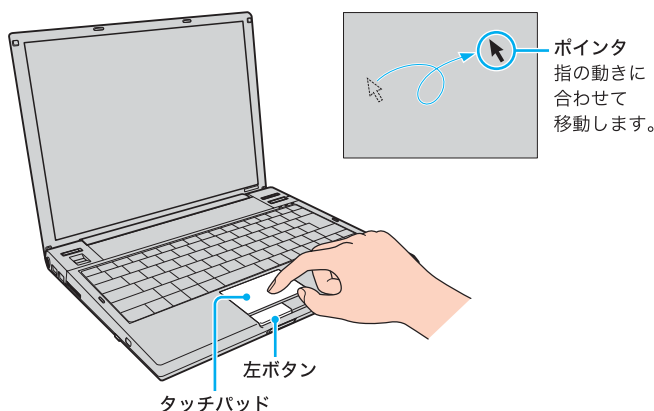
ステップ2:
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。
Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント

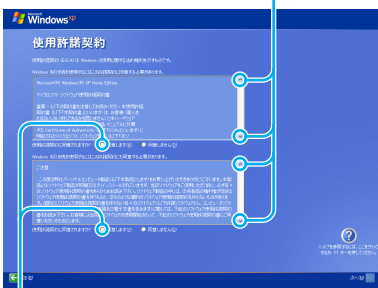
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「電源を入れる」(34ページ)をご覧ください。
- この説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。
- Windowsの準備では、インターネットへの接続は必要ありません。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある (次へ)をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ]の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

!ご注意

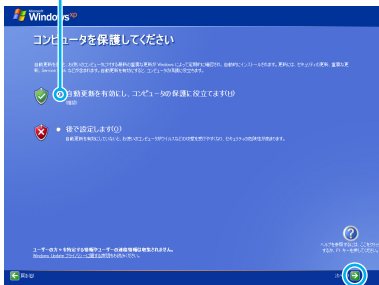
Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の○をそれぞれクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。

「コンピュータを保護してください」画面が表示されます。

！ご注意

どちらか一方でも[同意しません]の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

3 ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の○をクリックして◉にし、➡（次へ）をクリックする。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

4 コンピュータ名を変更したい場合は、コンピュータ名を変更し、➡（次へ）をクリックする。

ヒント

- 英語配列キーボードをご使用のお客様は、「英語配列キーボードをご使用のお客様へ」（46ページ）をご覧ください。
- コンピュータ名の入力は任意ですので、何も入力しなくても問題はありません。
- Windowsのセットアップ完了後に、コンピュータ名やコンピュータの説明を入力／変更することもできます。

ヒント

手順4のあとに次の画面が表示される場合があります。

- **パスワードの入力画面が表示されたときは**

  画面の指示に従ってパスワード入力欄にパスワードを入力し、(次へ)をクリックしてください。
- **ドメインへの参加確認画面が表示されたときは**
  - ご家庭でお使いの場合

    [いいえ、...]の○をクリックして◉にし、(次へ)をクリックしてください。
  - ご家庭以外でお使いの場合

    コンピュータの管理者にお問い合わせください。

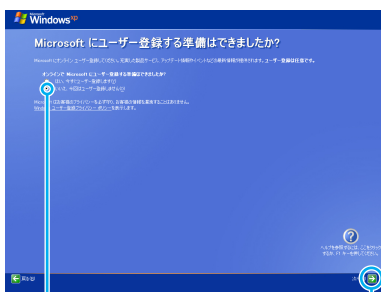
ドメインとは、企業などで用いられるコンピュータの管理単位のことです。

5 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示された場合は、(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

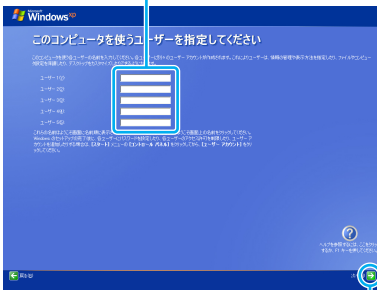
ヒント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いの接続方法の○をクリックして(次へ)をクリックすると、接続方法によってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。
その場合は画面の指示に従って操作してください。
また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは「インターネットを始める」(58ページ)をご覧ください。

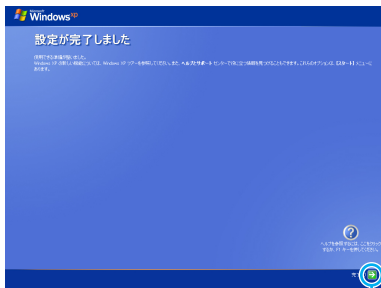
6 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

ヒント

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで（次へ）をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」（58ページ）をご覧ください。

7 お使いになる方の名前などをユーザー名として入力し、（次へ）をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。
「設定が完了しました」画面が表示されます。

ヒント

- 英語配列キーボードをご使用のお客様は、「英語配列キーボードをご使用のお客様へ」（46ページ）をご覧ください。
- ユーザー名の入力には、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット（全角／半角）などを使用できます。
  例：　私のバイオ
  　　　my VAIO
- 半角/全角キーで文字の入力切替を行います。

8 (完了)をクリックする。

これでWindowsが使えるようになりました。

ヒント

Windowsの起動後、日時があっていない場合は、次の手順で日時をあわせてください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]－[日付、時刻、地域と言語のオプション]にポインタをあわせ、[日付と時刻]をクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。

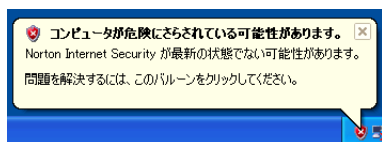
③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(38ページ)をご覧ください。

! ご注意

本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。

また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承下さい。

「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告について

Windowsのセットアップの完了後に、「コンピュータが危険にさらされている可能性があります。」という警告が表示されることがあります。この警告は、コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続といった危険からコンピュータを守るソフトウェアがインストールまたはセットアップされていなかったり、無効に設定されていたりするときに表示されます。
本機には、コンピュータを危険から守るソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされていますが、初期設定が行われるまでは動作しないため、前述の警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

英語配列キーボードをご使用のお客様へ

本機で英語配列キーボードをお使いの場合、お客様ご自身によるドライバの設定変更が必要です。設定変更の手順については「よくあるトラブルと解決方法」の「文字入力／キーボード」にある「Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。」(163ページ)をご覧ください。

ヒント

英語配列キーボードかどうかは半角／全角｜漢字キーの有無で確認できます。
英語配列キーボードには、半角／全角｜漢字キーがありません。

ステップ3:
基本設定を行う

バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット」の章(58ページ)をご覧ください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。
「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される[続行]をクリックして表示される「Norton Internet Security」設定画面にて行えます。

ヒント
「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
　使用許諾画面が表示されます。

② 内容を確認し、[同意する]をクリックする。

③ [90 日の更新サービスを続ける]を選択して、[次へ]をクリックする。
　アカウント画面が表示されます。

2 アカウントを作成する。

① [Norton アカウントの作成]を選択して必要な情報を入力後、[次へ]をクリックする。

ヒント

- 電子メールアドレスをお持ちでない場合や後で登録したい場合は、何も入力せずに[次へ]を数回クリックしてください。表示された[スキップ]をクリックして次の画面に進みます。
- すでにアカウントをお持ちの場合は、[既存の Norton アカウントにサインインする]を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力してください。

② 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。
　更新サービスの残り期限が日数表示されます。

設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

3 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。
画面に表示される指示に従って操作してください。

！ご注意

- 「LiveUpdate」によって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。
- インターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「LiveUpdate」でエラー画面が表示される場合

まずは、インターネットに接続しているか確認してください。
「LiveUpdate」を行うには、インターネット接続が必要です。インターネットに接続してから、再度「LiveUpdate」を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

❏ 「要注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

ヒント

初期設定時の「LiveUpdate」が終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

更新サービスの期限が切れてしまった場合は、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されません。そのため、新種のウイルスや脅威から本機を保護することができなくなります。
「Norton Internet Security」ソフトウェアのプロダクトキーを別途購入されることをおすすめします。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ(ユーザー登録・サポート登録・更新方法・技術的なご質問)
ホームページ:http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

パスワードについて

本機では、Windowsパスワード、パワーオン・パスワード（起動時のパスワード）とハードディスク・パスワードを設定することができます。

Windowsパスワードについて

Windowsのパスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけがWindowsにアクセスできるようにすることができます。
本機を複数のユーザーで使用するときなどに便利です。
Windowsパスワードの設定については83ページをご覧ください。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
- パスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを設定したり、パスワードリセットディスクを作成することができます。
  詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- Windowsパスワードは、Windowsログオン画面で入力します。
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）
  （指紋センサー搭載モデル）

パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用するようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

- **マシンパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- **ユーザーパスワード（管理者以外のユーザー用）**
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順については76ページをご覧ください。

！ご注意
- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  - マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
- パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。
- パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）
  （指紋センサー搭載モデル）

ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。

ヒント

ハードディスク・パスワードは、内蔵フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- マスターパスワード（管理者用）
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- ユーザーパスワード
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順については80ページをご覧ください。

！ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
    VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのみに有効です。外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント

- ハードディスク・パスワード（ユーザーパスワード）は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあと入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（87ページ）
  （指紋センサー搭載モデル）

ステップ4:
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様へより充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行(あるいは、お持ちの「My Sony ID」に製品の登録情報を追加)され、下記の登録特典が得られます。
登録はこちら(http://www.vaio.sony.co.jp/regist)からお願いいたします。

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードでお客様ご本人の認証に利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

!ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
- 住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(195ページ)までご連絡ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

① **セキュリティーや品質などに関する重要な情報をご提供**
お客様のバイオに関する重要な情報をご連絡いたします。

② **ご登録カスタマー専用のサービス・サポートメニューをご用意**
VAIO延長保証などのサービスから、コールバック予約などのサポートまで多彩な専用メニューをご利用いただけます。

③ **優待プログラム「My VAIO Pass」(http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/)(207ページ)をご提供**
ソフトウェアの優待販売や期間限定の特別キャンペーンに加え、ソニーグループ内で広く使えるソニーポイントの連動を強化した優待プログラムをご利用いただけます。

④ **お客様専用のページをご提供**
カスタマー登録の際に発行されるMy Sony IDでログインしていただくと、お客様専用ページをご覧いただけます。

⑤ **電話サポートがよりスムーズに**
ご登録いただいたお客様情報に基づき迅速に対応いたします。

⑥ **バイオに関する最新情報をご提供**
メールニュースなどバイオに関するさまざまな最新情報をお届けします。

❑ ご利用いただける有償サービス

- VAIO延長保証サービス
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Guarantee/
  大切なバイオを安心してお使いいただくためのサービスです。
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
  http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Overseas/
  海外で安心してお使いいただくためのサービスです。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」
  http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

❑ ご利用いただけるサポート

お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。

- 「テクニカル**Web**サポート」
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/
  バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信いたします。
- 「**VAIO**コールバック予約サービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページから、電話サポートのご予約をしていただけます。
- 「**VAIO**リモートサービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただきます。
- 「**VAIO Hot Street**（情報交換サイト）」
  http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
  バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイトをご利用いただけます。

※2007年6月現在

ご利用いただける有償サービスやサポートについて詳しくは、208ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、お客様のバイオから以下の方法で行うことができます。

！ご注意
VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

❑「My VAIO」から登録

1 **「MyVAIO」（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO）の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックする。**

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 **以降、画面の指示に従って登録する。**

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページをご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

- 「リカバリディスクを作成する」（128ページ）をご覧ください。

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- VAIOカスタマーリンクのホームページの「代表的なサポートメニュー」（183ページ）をご覧ください。

電子マニュアルの使いかた

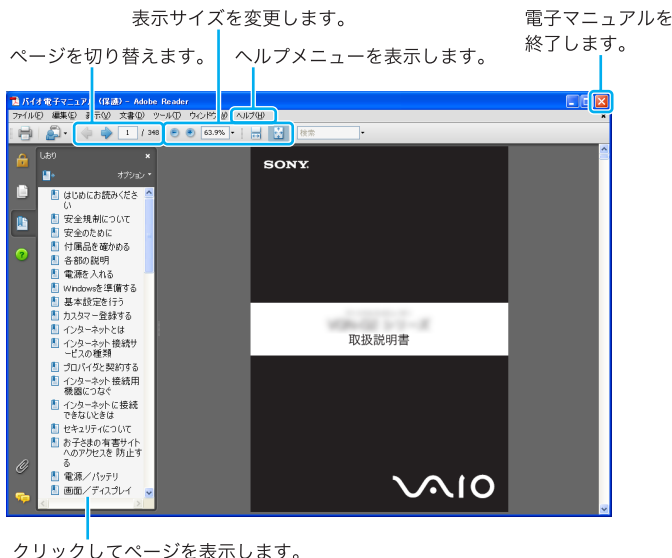
この説明書に記載されている以外のさらに詳しい情報は「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」を見るには、本機の電源が入っている状態で次のように操作します。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「Adobe Reader」ソフトウェアが起動し、「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

ヒント
「Adobe Reader」ソフトウェアをはじめて起動したときは、使用許諾契約書が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

2 見たいページを表示する。

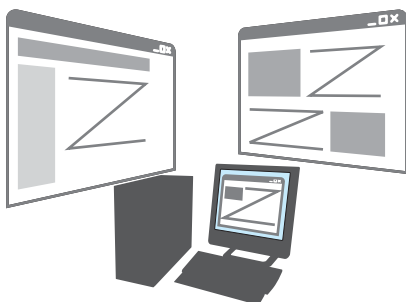
しおりをクリックしたり、ページ切り替えボタンをクリックします。
詳しくは、「Adobe Reader」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

（画面は実際と異なる場合があります。）

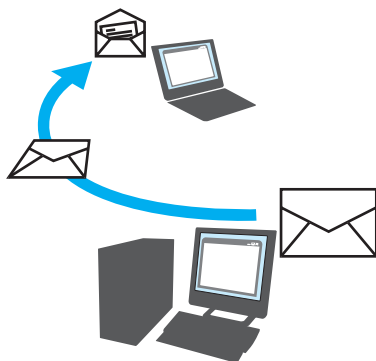
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などと呼びます）と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

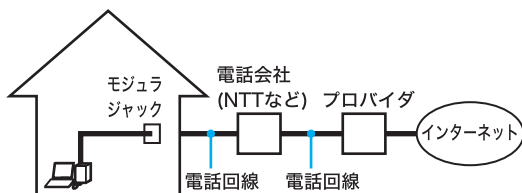
こんなこともできます

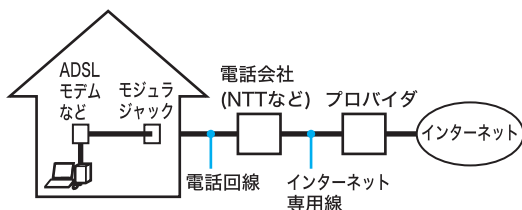
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー（IM）というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット（文字による会話）などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開してほかの人に見てもらえるようにすることができます。

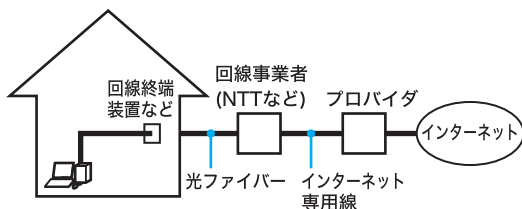
インターネット接続サービスの種類

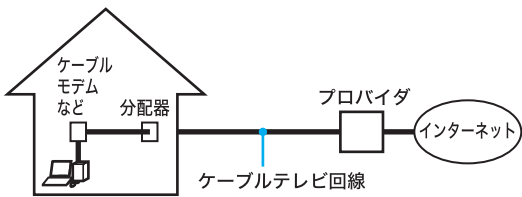
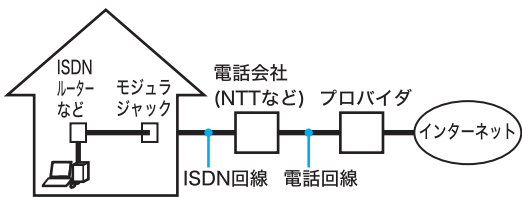
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光（FTTH）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光（FTTH）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATVインターネット	△	○／◎	◎
ISDN	○	△	△

◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

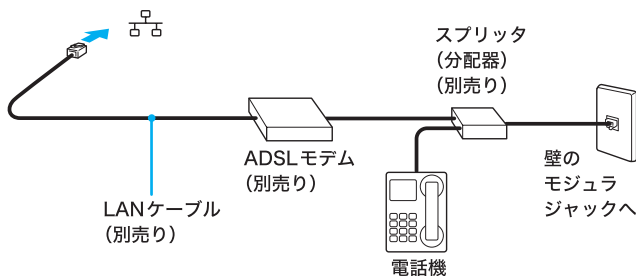
インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。

!ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL／FTTH／CATVを利用するときは

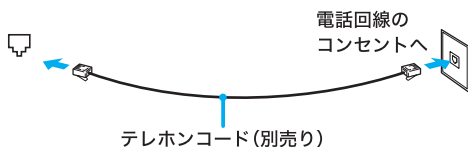
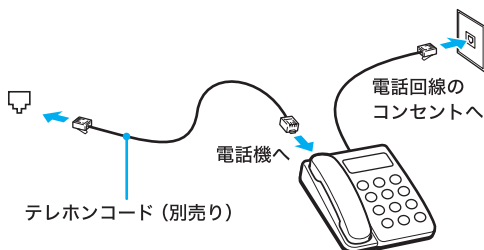
ADSL／FTTH／CATVを利用するときは、本体左側面のLANコネクタ（29ページ）に接続します。

* ADSLの接続例

!ご注意

- LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。
- 「電源オプションのプロパティ」画面の「VAIO 省電力設定」タブで「ネットワーク（LAN）」の設定を「電源オフ」にしている場合は、ネットワーク（LAN）をご使用になれません。
  ネットワーク（LAN）をご使用になるときは設定を変更してください。

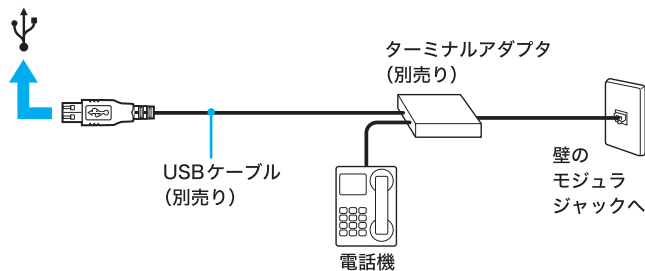
一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。

本体右側面の（モジュラジャック）（28ページ）にモジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本体左側面のLANコネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラジャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の ψ（USB）コネクタ（29ページ）に接続します。

！ご注意
接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

インターネットに接続できないときは

インターネット接続ができないときは、次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります。（62ページ）

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルやテレホンコードの接続は63ページをご覧ください。

❑「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、インターネットに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックして表示します。
モデムがダイヤルしないなど、困ったときは「よくあるトラブルと解決方法」の「インターネット接続」や「ホームページ／電子メール」をご覧ください。

ワイヤレスLANで接続できないときは

ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続することもできます。
ワイヤレスLANを使って接続できないときは、次の項目を確認してください。

❑「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、ワイヤレスLANに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックして表示します。
それぞれの項目をご覧ください。

- ワイヤレス機能を有効にしたいときは　→　「ワイヤレスLANで通信する」
- アクセスポイントが使用できないときは　→　「よくあるトラブルと解決方法：LAN／ワイヤレスLAN」
- ネットワークキー／暗号化について知りたいときは　→　「ワイヤレスLANで通信する」
- 通信速度が遅いときは　→　「よくあるトラブルと解決方法：LAN／ワイヤレスLAN」

ヒント
「よくあるトラブルと解決方法：LAN／ワイヤレスLAN」は、この説明書にも記載されています。
167ページをご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。

本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、47ページをご覧ください。

！ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。

Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。

「Windowsを準備する」（40ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[Windows Update]をクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

Windows Update関連情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

Windows XPサービスパック関連情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。
  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報やよくある質問および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル(お知らせ)
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号:(0466)30-3016
受付時間:平日 10:00～21:00
土・日・祝日 10:00～17:00

お子さまの有害サイトへのアクセスを防止する

インターネットを利用すると、サイトを閲覧したり、電子メールのやりとりを行うことで、必要なときに必要な情報を瞬時に検索することができます。しかし、インターネット上には、有益な情報ばかりでなく、下記のような違法、有害なサイトも同じように存在しています。

- アダルトサイト(ポルノ画像や風俗情報)
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報発信の自由や匿名性といったインターネットの特性上、誰もが簡単に上記のようなサイトにアクセスすることができます。現在、多くのお子さまが安易にこのようなサイトにアクセスし、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題を起こしています。
しかし、上記のようなサイトがお子さまにとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を禁止させることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を禁止させることはできません。

このような氾濫する多くの有害サイトにアクセスできないようにするための技術が、「フィルタリング」です。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信者の側で閲覧制限する手段で、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。
本機にインストールされている「Norton Internet Security」ソフトウェアには、フィルタリングの機能が備わっています。また、一部の機種には同様のフィルタリング機能を持つ「i-フィルター」ソフトウェア(体験版)がインストールされているものもあります。

特にお子さまがおられるご家庭では、上記ソフトウェア、もしくはプロバイダのフィルタリング・サービスの利用をご検討されることをお勧めします。
「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはプロバイダによって、「有害サイトブロック」「Webフィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合があり、それぞれ、機能、利用条件が異なっています。上記ソフトウェアのフィルタリング機能についてはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。またプロバイダのフィルタリング機能のサービスについては、加入しているプロバイダにお問い合わせください。

なお、フィルタリングに関する詳しい情報は、社団法人 電子情報技術産業協会のユーザ向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

セキュリティ

外部機器・メディアの使用を制限する

「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、メモリースティックスロット、SDメモリーカードスロット、PCカードスロット、i.LINKポートの使用を制限したり、USBポートを読み取り専用にしたりすることで、データの持ち出しを容易にできないようにすることができます。
なお、この設定を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ヒント
「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使用する場合は、パワーオン・パスワードと併用することを強くおすすめします。（76ページ）

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

2 [セキュリティ]－[外部機器・メディア使用設定ユーティリティ]をダブルクリックする。

パスワード認証画面が表示されます。

ヒント
管理者権限を持つユーザーがはじめて設定画面を表示した場合、認証用パスワードの登録を行います。表示された画面で[パスワードの制限について]をクリックしてパスワードについて確認したあと、認証用パスワードを設定してください。

3 パスワードを入力し、[OK]をクリックする。

設定画面が表示されます。

4 外部機器・メディアの使用について設定する。

- 「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」
  [有効(外部機器・メディアを使用できません)]を選択すると、メモリースティックスロット、SDメモリーカードスロット、PCカードスロット、i.LINKポートの使用を制限します。
- 「USB」
  「有効(書き込みできません)」を選択すると、USBポートを読み取り専用にします。

  !ご注意
  USBポートに接続されたすべての機器に対して、書き込みを制限するものではありません。CD/DVDドライブなど一部の機器では、制限を行うことができないものがあります。

ヒント

- i.LINKポートの設定ができるのは、ディスクドライブ非搭載モデルのみです。
- 「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」での設定は、簡易的に使用を制限するもので、完全に使用できなくするものではありません。
- 「USB」の設定を有効にした場合は、本機の (USB)コネクタに接続したUSBメモリやハードディスクなどへの書き込みができなくなります。

5 [OK]をクリックする。

6 再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

再起動後、変更した設定が有効になります。

!ご注意
使用状況によっては、設定した内容とデバイスの状態が一致しない場合があります。Windows起動時に「外部機器・メディア使用設定がデバイスの状態と一致していません」というメッセージが表示された場合は、再度設定を行ってください。

パスワードを設定する

パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機を起動してVAIOのロゴマークが表示された後に、設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
パワーオン・パスワードには通常ユーザーが利用するユーザーパスワードと、BIOS設定の変更ができるマシンパスワードの2種類があります。

!ご注意

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（95ページ）
（指紋センサー搭載モデル）

パワーオン・パスワード（マシンパスワード）を登録するには

ヒント

パワーオン・パスワード（ユーザーパスワード）を設定するには、パワーオン・パスワード（マシンパスワード）の設定が必要です。

1　本機の電源を入れる。**（34ページ）**

2　VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3　←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

スペースキーを押して[Disabled]から[Enabled]に変更します。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を登録するには

ヒント
パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

1 本機の電源を入れる。(34ページ)

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5　パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6　←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード（マシンパスワード）を変更する／削除するには

1　本機の電源を入れる。（34ページ）

2　VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3　「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4　←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5　現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password]に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6　←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を変更する/削除するには

1 本機の電源を入れる。(34ページ)

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを設定する

ハードディスク・パスワードは、内蔵フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定します。
設定したパスワードを入力することにより、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。

!ご注意
パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが使用できなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
- お買い上げ時の状態では、ハードディスク・パスワードは設定されていません。
  「ハードディスク・パスワードについて」（51ページ）をお読みになり、不用意に設定することのないようにしてください。
  また、パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（95ページ）
  （指紋センサー搭載モデル）

ハードディスク・パスワードを登録するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

1 **本機の電源を入れる。****（34ページ）**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。**

パスワード設定画面が表示されます。

4 ［Enter Master and User Passwords］を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、［Continue］を選択してEnterキーを押してください。

5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

！ご注意
マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更するには

1 本機の電源を入れる。(34ページ)

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Hard Disk Password］を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

4 [Change Master Password]または[Change User Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

新しいパスワードは2度入力する必要があります。
[Enter Current Hard Disk Master Password]または[Enter Current Hard Disk User Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk Master Password]または[Enter New Hard Disk User Password]と[Confirm New Hard Disk Master Password]または[Confirm New Hard Disk User Password]に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを削除するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

5 ［Enter Current Hard Disk Master Password］に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで［Exit］を選択し、［Exit Setup］を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
設定したパスワードは、ログオン画面でユーザー名を選択したあとに入力します。
Winsowsパスワードは、本機を複数のユーザーで使用している場合に便利です。

！ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（95ページ）（指紋センサー搭載モデル）
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録するには

1 ［スタート］ボタンー［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 「変更するアカウントを選びます」から、パスワードを設定するユーザー名をクリックする。

4 [パスワードを作成する]をクリックする。

5 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」にそれぞれ設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 [パスワードの作成]をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて[はい、個人用にします]または[いいえ]をクリックしてください。

7 ❌ をクリックする。

8 再度、[ユーザー アカウント]をクリックする。

9 [ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]をクリックする。

10 [ようこそ画面を使用する]と[ユーザーの簡易切り替えを使用する]がチェックされていることを確認する。

チェックされていないときはクリックしてチェックし、[オプションの適用]をクリックします。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワード リセット ディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

Windowsパスワードを変更するには

1 [スタート]ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 「変更するアカウントを選びます」から、パスワードを設定するユーザー名をクリックする。

4 [パスワードを変更する]をクリックする。

5 「現在のパスワードの入力」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」にそれぞれ設定したいパスワードを入力する。

ヒント

パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除するには

1 **[スタート]ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **[ユーザー アカウント]をクリックする。**

「ユーザー アカウント」画面が表示されます。

3 **「変更するアカウントを選びます」から、パスワードを設定するユーザー名をクリックする。**

4 **[パスワードを削除する]をクリックする。**

5 **現在設定されているパスワードを入力する。**

6 **[パスワードの削除]をクリックする。**

指紋認証を使う
（指紋センサー搭載モデル）

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。また、指紋認証によって、便利な機能を使用することもできます。下記の「指紋認証でできること」をご覧ください。

ヒント
指紋の登録については「指紋を登録するには」（90ページ）をご覧ください。

！ご注意
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また個人差があります。
- 本機の修理などを行った場合、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などは復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意
指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。（90ページ）

パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**
  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。（95ページ）

  ！ご注意
  指紋認証を使用してログオンする場合、通常の操作でログオンしてください。（Ctrlキー＋Altキー+Deleteキーを押すことを促すメッセージを表示しないログオンを使用してください。）

  ヒント
  複数のユーザーで使用している場合でも、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンします。

- **パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンする**
  パワーオン・パスワード（76ページ）やハードディスク・パスワード（80ページ）を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。（95ページ）

ヒント
これらのパスワード解除は、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。（100ページ）

ヒント

- パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
- アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

！ご注意

- パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定しておく必要があります。
- Webページによっては、パスワードバンク機能が正しく動作しない場合があります。

File Safe

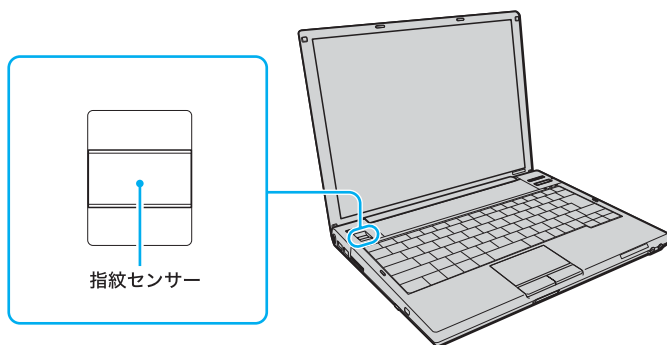
File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。（104ページ）

アプリケーションランチャー

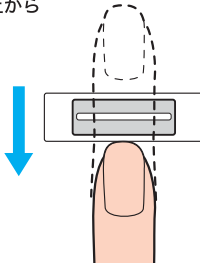
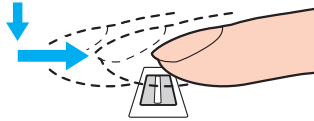
指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。（106ページ）

指紋をスキャンするには

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

1　指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント

- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

2 指を直線状に手前に向かってスライドする。

!ご注意

- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
  1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋をスキャンするときのご注意

指の状態について

指の状態が次のような場合は、指紋の登録／認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行うことで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れていたり、指にけが(切り傷など)をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄かったり、しわが多い場合　など

スキャンについて

スキャンを行うときは、次の点にご注意ください。

- 指を指紋センサーの中央に平たく置いてください。
- 指の第一関節より上部をスキャンしてください。
- 指を指紋センサーに垂直な状態でスライドさせてください。
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下したりする場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

指紋を設定する

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

！ご注意

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録ができない場合があります。
- 指紋はひとりに対して10個まで登録できます。ただし、パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は最大21個までとなります。また、パワーオンセキュリティで使用する指をあとから指定することもできます。
- 指紋を登録する前に、Windowsのパスワードを設定してください。（83ページ）

指紋を登録するには

次の手順で指紋の登録を行ってください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］－［Protector Suite QL］にポインタをあわせ、［コントロールセンター］をクリックする。**

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 **［指紋］をクリックする。**

3 **［初期化］をクリックする。**

「指紋ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

4 「使用許諾契約書」の内容を確認して、[使用許諾契約書に同意します]の○をクリックして ◉ にし、[OK]をクリックする。

「ようこそ」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

「終了」画面が表示されます。

6 「ハードディスクへの登録」が選択されていることを確認して[完了]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

ヒント
本機では、「バイオメトリックスデバイスへの登録」は選択できません。

7 [次へ]をクリックする。

「パスワード」画面が表示されます。

ヒント
Windowsのパスワードを設定していない場合は、メッセージが表示されます。
パスワードを設定してください。
① 「今パスワードを登録しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
② パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

8 Windowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

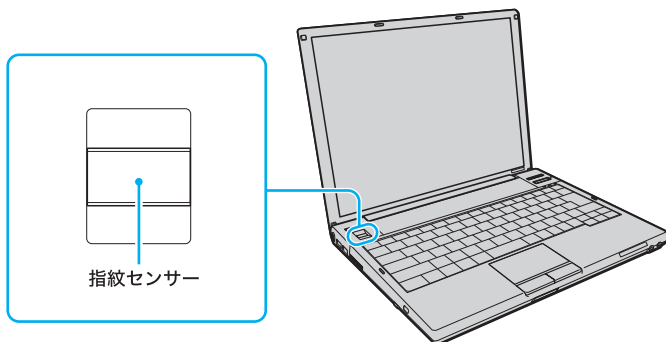
9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

「指紋チュートリアル」画面が表示されます。

10 内容をよく確認し、[次へ]をクリックする。

ヒント
この画面には、指紋スキャン時のヒントを表示しています。表示された内容をよくご確認ください。
また、[ビデオ再生]をクリックすると、動画で詳細を表示します。

11 スキャンテストを行う。

スキャンテストは4回行います。
手順10で確認した方法で、指紋センサーに指をスライドさせてください。

スキャンテストを4回行ってもうまくいかなかった場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋をスキャンするには」(88ページ)でも紹介しています。
- テストは同じ指で行ってください。
- スキャンをやり直したい場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

12 [次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

13 登録する指を選択し、指紋を登録する。

① 登録したい指のボタンをクリックする。

② 登録する指の指紋を3回スキャンする。
スキャンを終了すると、「登録」画面に戻ります。

③ [次へ]をクリックする。

ヒント

複数の指を登録する場合は、この手順をくり返して行います。2本以上の指を登録することをおすすめします。

14 [完了]をクリックする。

15 [閉じる]をクリックする。

以上で指紋の登録は完了です。
本機の次回起動後や休止状態から復帰した場合は、パスワード入力の代わりに、登録した指を指紋センサーにスライドさせて認証を行うことができます。

指紋を追加登録する／編集するには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [指紋]をクリックする。

3 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

5 「パスワード入力」または「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

6 「指紋を登録するには」の手順9以降の操作を行う。

ヒント
「指紋を登録するには」の手順12で、まだ登録していない指のボタンをクリックすると追加登録ができます。
また、すでに指紋が登録してある指のボタンをクリックすると削除することができます。

指紋を削除するには

コンピュータを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で↓キーを押して[Clear Fingerprint Data]を選択してEnterキーを押す。**

本機が再起動して、指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

指紋認証でシステムにログオンする

Windowsにログオンするには

指紋が登録されているユーザーのアカウントにログオンする場合、Windowsログオン時のパスワード入力を指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

1 **Windowsのログオン画面が表示されたら、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(88ページ)**

Windowsにログオンします。

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、登録してある指をスライドするだけで、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンすることができます。

パワーオンセキュリティを使うための設定をするには

パワーオン・パスワードやハードディスク・パスワードの設定を行っている場合は、システム起動時のパスワード入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。
設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード（76ページ）やハードディスク・パスワード（80ページ）を設定しておく必要があります。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。**

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 **[設定]をクリックする。**

3 **[パワーオンセキュリティ]をクリックする。**

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 **[指紋によるパワーオンセキュリティを有効にする]チェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]をクリックする。**

5 **「指紋コントロールセンター」画面の[指紋]をクリックする。**

6 **[指紋の登録、または編集]をクリックする。**

「ユーザー登録」画面が表示されます。

7 **[次へ]をクリックする。**

8 **「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。**

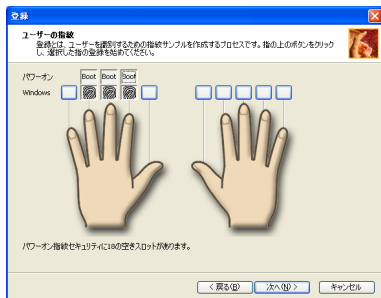
「登録のヒント」画面が表示されます。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[次へ]をクリックする。

ヒント

パワーオン指紋セキュリティメモリに空きがある場合、メッセージが表示されます。

10 パワーオンセキュリティで使用する指のボタンをクリックし、表示された確認画面で[はい]をクリックする。

ヒント

登録されている指がすでにパワーオン指紋セキュリティメモリにある場合、ボタンは表示されません。

11 [次へ]をクリックする。

12 [完了]をクリックする。

パワーオンセキュリティで使用しない指を指定するには

指紋によるパワーオンセキュリティを有効にしている状態(設定)から指を追加登録すると、追加登録した指はパワーオンセキュリティで使用する指として設定されます。登録されている指の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指がある場合は、削除することができます。以下の手順に従って削除してください。

ヒント

設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード(76ページ)やハードディスク・パスワード(80ページ)の設定、パワーオンセキュリティを使うための設定をしておく必要があります。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

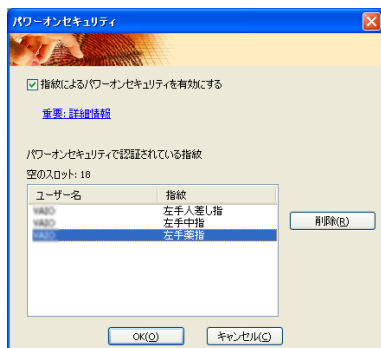
「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [パワーオンセキュリティ]をクリックする。

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 「パワーオンセキュリティで認証されている指紋」の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指を選択し、[削除]をクリックする。

パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンするには

1 本機の電源を入れる。（34ページ）

VAIOのロゴマークが表示されたあと、認証画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

パスワードを入力せずに、システムにログオンします。

ヒント

- Deleteキーを押すと、指紋認証画面がキャンセルされ、通常どおりにキーボードからパスワードを入力することもできます。
- パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は、最大で21個までとなります。

指紋認証のパスワードバンクを使う（指紋センサー搭載モデル）

パスワードバンクを設定すると、Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

！ご注意
パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定をしておく必要があります。

パスワードバンクを設定するには

パスワードバンクの設定を行います。

1 パスワードバンクに登録したいアカウントやパスワードの入力画面を表示する。

2 登録したい情報（アカウントやパスワードなど）を入力する。

3 入力画面が選択されている状態で、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（88ページ）

バイオメトリックメニューが表示されます。

4 [登録...]を選択する。

登録が完了すると、タイトルバーにメッセージがバルーン表示されます。

！ご注意
パスワードバンクを利用して、TPMのパスワードを入力または保存することは絶対にしないでください。（TPMセキュリティチップ搭載モデル）

パスワードバンクを利用するには

1 パスワードバンク設定済みのウィンドウを表示させる。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。（88ページ）

確認画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする。

アカウントやパスワード欄に自動で入力が行われます。

ヒント
「セキュリティの警告」画面が表示された場合は、[はい]や[OK]をクリックしてください。

ヒント
アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンクをエクスポート／インポートするには

パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることができます。

エクスポートするには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [登録]タブをクリックする。

6 リストからエクスポートしたい登録名を選択して、[エクスポート ...]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

7 任意の名前を付けて[保存]をクリックする。

「登録ファイルパスワード」画面が表示されます。

8 パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

エクスポートが行われます。

9 [OK]をクリックする。

インポートするには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [登録]タブをクリックする。

6 [インポート ...]をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

7 エクスポートされたファイルを選択して、[開く]をクリックする。

「登録ファイルパスワード」画面が表示されます。

8 エクスポート時に設定したパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

インポートが行われます。

9 [OK]をクリックする。

指紋認証のFile Safeを使う
（指紋センサー搭載モデル）

File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
また指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。

ファイルの暗号化を行うためには

新しいFile Safeアーカイブを作成する（新規にファイルやフォルダを暗号化する）

1 **暗号化するファイルまたはフォルダを右クリックして表示されたメニューから、[新しい暗号化アーカイブに追加]をクリックする。**

2 **アーカイブのファイル名とバックアップパスワードの設定を行い、[OK]をクリックする。**

暗号化が開始されます。
暗号化が終了すると、元のファイルの取り扱いを選択するメッセージが表示されます。

3 **元のファイルを削除する場合は[元のファイルを削除]を、元のファイルを削除しない場合は[元のファイルを維持]をクリックする。**

ヒント
作成されるアーカイブの拡張子は、「*.uea」（複数ファイル、あるいはフォルダの場合）または「*.ueaf」（単一ファイルの場合）になります。

既存のFile Safeアーカイブにファイルまたはフォルダを追加する

1 **暗号化するファイルまたはフォルダを右クリックして表示されたメニューから、[既存の暗号化アーカイブに追加]をクリックする。**

ファイルを選択するウィンドウが表示されます。

2 **ファイルを追加するアーカイブ（*.uea）を選択し、[開く]をクリックする。**

3 **指紋認証を要求されるので、ログオンしているアカウントに登録してある指をスキャンする。**

暗号化が開始されます。
暗号化が終了すると、元のファイルの取り扱いを選択するメッセージが表示されます。

4 **元のファイルを削除する場合は[元のファイルを削除]を、元のファイルを削除しない場合は[元のファイルを維持]をクリックする。**

ヒント
アーカイブファイルがアンロックされている場合、アーカイブファイルに対して通常のファイル操作のようにドラッグアンドドロップしてファイルやフォルダを追加することもできます。

File Safeの暗号化アーカイブをアンロック／ロックするには

File Safeの暗号化アーカイブをアンロックする

1 **アンロックするアーカイブファイルを右クリックして表示されたメニューから、[アンロック]をクリックする。**

2 **指紋認証が要求されるので、ログオンしているアカウントに登録してある指をスキャンする。**

ヒント
アーカイブファイルがアンロックされると、アーカイブファイルは通常のファイルやフォルダの様にアクセスできるようになります。

File Safeの暗号化アーカイブをロックする

1 **ロックするアーカイブファイルを右クリックして表示されたメニューから、[ロック]をクリックする。**

ヒント
File Safeについての詳しい情報は、「Protector Suite QLのヘルプ」をご覧ください。([スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[ヘルプ]をクリックして表示する。)

指紋認証のアプリケーションランチャーを使う（指紋センサー搭載モデル）

アプリケーションランチャーでは、指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。

アプリケーションを関連付けるには

アプリケーションランチャーを使用するには、はじめにすでに指紋センサーに登録している指とアプリケーションの関連付けを行います。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］－［Protector Suite QL］にポインタをあわせ、［コントロールセンター］をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 ［設定］をクリックする。

3 ［ユーザー設定］をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 ［アプリケーション］タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 [追加...]をクリックする。

!ご注意

- この設定を追加するには、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を2つ以上登録しておく必要があります。
- メニューリストを表示するために、アプリケーションと関連付けを行っていない指紋を最低1つは残しておく必要があります。

7 指紋とアプリケーションを関連付ける。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定してください。

8 [OK]をクリックする。

アプリケーションを起動するには

指紋センサーに指をスライドさせることで、その指と関連付けられているアプリケーションが起動します。

ヒント

アプリケーションと関連付けされていない指を指紋センサーにスライドさせた場合は、メニューリストを表示します。

アプリケーションの関連付けを変更するには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [アプリケーション]タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 アプリケーションの関連付けを編集したい指を選択して、[編集...]をクリックする。

7 指紋とアプリケーションの関連付けを変更する。

割り当てる指やアプリケーションなどを指定し直してください。

8 [OK]をクリックする。

アプリケーションの関連付けを解除するには

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]にポインタをあわせ、[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [ユーザー設定]をクリックする。

4 指紋認証を要求されるので、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

5 [アプリケーション]タブをクリックする。

「アプリケーション」画面が表示されます。

6 アプリケーションの関連付けを解除したい指を選択し、[削除]をクリックする。

7 [OK]をクリックする。

TPMを使う
（TPMセキュリティチップ搭載モデル）

TPM（Trusted Platform Module）の機能を使うと、セキュリティの基本機能が提供され、データの暗号化や復元を行ってセキュリティを強化することができます。

*　TPMは、TCG（Trusted Computing Group）により定義されています。

！ご注意

- 本機は、TPMに関して最新のセキュリティ機能を搭載していますが、データやハードウェアの完全な保護を保障するものではありません。
  TPMの使用によるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を修理などに出す場合、TPM内およびハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータなどは、お客様にてバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  修理により、万一データが消失した場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理などを行った場合、TPMを交換して返却する場合があります。
- TPMに関するデータの保守・運用は、お客様にて行ってください。TPMに関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Infineon TPM Professional PackageでTPMを設定する

Infineon TPM Professional Packageを使うと、TPM機能を使用したデータの暗号化や復号化ができます。

！ご注意

- TPMの初期化を行う場合、設定したパスワードはメモを取るなどして、忘れないようにしてください。メモしたパスワードを他人に知られないように管理してください。
  パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータはいかなる手段を用いても復元することはできません。
- TPMの初期化を行う際に保存するシステムバックアップアーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセット用トークン、個人シークレットファイルなどは、必ずバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  これらのファイルを紛失した場合、TPM設定の復元やパスワードリセットなどの機能が使用できなくなる場合があります。
- ユーザーの初期化を行う場合、初期化ウィザード終了後に自動バックアップの設定を必ず行ってください。
  また、この設定終了時の画面で、「自動バックアップを今すぐ起動」をチェックし、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。

キーの暗号化に対するご注意

TPMソフトウェアがインストールされている環境で、プラットフォームの初期化が終わり、かつユーザーの初期化の際にEFS機能が選択されている状態で、下記フォルダ内に作成されているファイルをEFSで暗号化すると、TPMソフトウェアが正常に起動しなくなり、暗号化したデータを復号できなくなります。
なお、初期状態においては、下記フォルダ内のファイルはシステム属性を持たせることにより暗号化されるのを防いでいます。
下記のフォルダやファイルの属性を変更しないでください。
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥Infineon¥TPM Software 2.0
フォルダ内の**BackupData**、**PlatformKeyData**、**RestoreData**、**UserKeyData**

ヒント
Windowsの初期設定の状態では、上記のフォルダは参照できません。

バックアップファイルやその他ファイルの暗号化に対するご注意

アーカイブ、バックアップ、トークンファイルを暗号化すると、緊急時に復元ができなくなります。
またパスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化すると、パスワードのリセットができなくなります。
以下のファイルまたはフォルダを暗号化しないでください。

- 自動バックアップファイル
  - デフォルトファイル名：SPSystemBackup.xml
- 自動バックアップデータ格納フォルダ
  - フォルダ名（固定）：SPSystemBackup（SPSystemBackup.xmlファイルが作成されるフォルダのサブフォルダとして作成されます。）
- 復元用トークン
  - デフォルトファイル名：SPEmRecToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- パスワードリセットトークン
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- パスワードリセットシークレットファイル
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetSecret.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- キーと証明書用バックアップ
  - デフォルトファイル名：SpBackupArchive.xml
- **PSD** バックアップ
  - デフォルトファイル名：SpPSDBackup.fsb

ヒント
デフォルトパスが指定されていないファイルは、[参照]をクリックしたときに「マイ ドキュメント¥SecurityPlatform」が開きます。

！ご注意
誤って上記フォルダをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、バックアップ、トークンファイル、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化した場合、当社でデータを復元することはできません。
また、この場合のいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Personal Secure Drive（PSD）に関するご注意

Personal Secure Drive（PSD）はシステムによってあらかじめ使用されている領域があるため、実際に使用できる容量は設定時の初期値より約10 MB以上少なくなります。（PSDのサイズが大きくなるとあらかじめ使用されている領域も増えます。）

基本ユーザーパスワードの有効期限に関するご注意

基本ユーザーパスワードの有効期限の初期値は、[無期限]になっています。

ステップ1：BIOS設定でTPMを有効にする

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されなかった場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで[TPM State]を選択し、表示された画面で「Change TPM State」を[Enabled]にする。**

4 **←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。**

5 **本機が再起動した後、「Physical Presence Operations」画面が表示されるので、[Execute]を選択する。**

ヒント
BIOS設定内では、次の設定ができます。
- TPMを有効にする。
- TPMを無効にする。
- TPMの設定をクリアする。

* 設定をクリアした場合、TPMで暗号化されているデータに再びアクセスすることはできません。TPMで暗号化されているデータが残っている場合は、必要に応じてデータのバックアップなどを行ってから、設定をクリアしてください。

！ご注意
TPMを有効にする場合は、設定を第三者に変更されることのないようパワーオン・パスワードを設定してください。（76ページ）

ステップ2:「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

「C:¥Infineon¥Readme」のフォルダ内にあるReadme.txtファイルをよくお読みになった後、「C:¥Infineon¥setup.exe」にあるインストーラをダブルクリックしてインストールを行ってください。

!ご注意

この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ステップ3:TPMの初期化・設定を行う

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[Infineon Security Platform ソリューション]にポインタをあわせ、[入門ガイド]をクリックして表示されるヘルプをご覧いただき、お客様に必要な設定を行ってください。

!ご注意

- 初期化ウィザード終了後には、次の手順で必ず自動バックアップの設定をしてください。
  1) デスクトップ画面右下の通知領域にある (TPMアイコン)を右クリックして表示されるメニューから、Windowsのマークの付いた[Security Platform を管理する]を選択する。
  2) 表示された画面の[バックアップ]タブをクリックして、[設定]をクリックする。
  3) 自動バックアップのスケジュールなどを設定する。
     設定終了時に[自動バックアップを今すぐ起動]チェックボックスが表示された場合はチェックをつけ、バックアップファイルを更新してください。
     これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。
- 設定したパスワードを忘れたり、バックアップファイルを紛失したりすると、TPMで保護されたデータを復元することができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  また、バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。

増設／バックアップ／リカバリ

メモリモジュールを取り付ける／はずす

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

本機には拡張メモリスロットが1つあり、最大1.5 Gバイトまでメモリを増設できます。*

別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。

* お買い上げ時に選ばれた仕様によっては、最大2 Gバイトまで増設できます。

メモリモジュールを取り付けるには

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント

メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

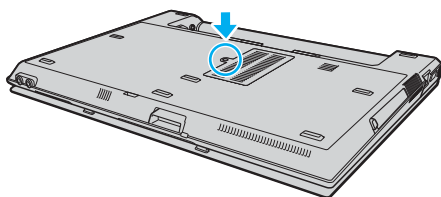
メモリを取り付けるには

!ご注意

- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

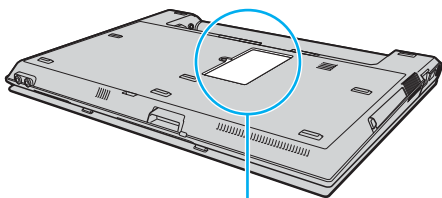
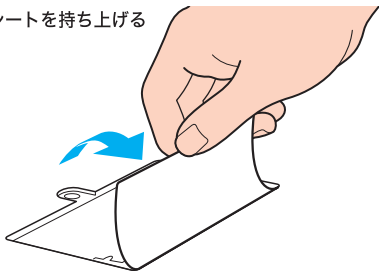
2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

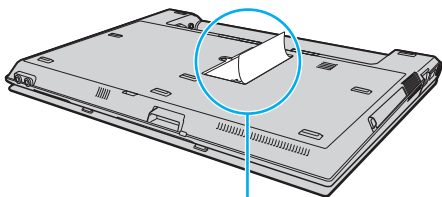
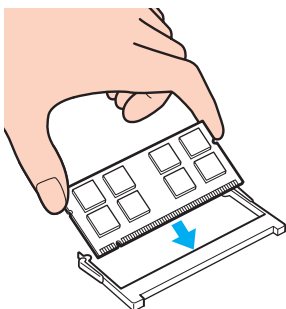
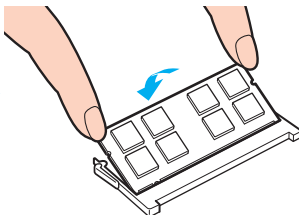
底面のネジ(矢印部分の1か所)をプラスドライバーで取りはずします。

!ご注意

- ドライバーはネジのサイズにあったもの(精密ドライバーなど)をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようご注意ください。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリモジュールを取り付ける。

① シートをつまんで持ち上げる。

② メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

③「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いIC部分には触らないでください。

！ご注意

- シートを持ち上げすぎて、はずしたり折り目をつけたりしないようにしてください。
- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1でとりはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]－[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

!ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

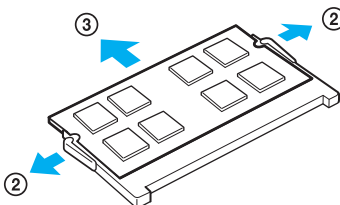
2 **「メモリモジュールを取り付けるには」の手順2を行う。**

3 **本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。**

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① シートをつまんで持ち上げる。

② メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

③ メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 **ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。**

5 **手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。**

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリすることができます。
また、リカバリディスクを作成することもできます。

ヒント

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（128ページ）

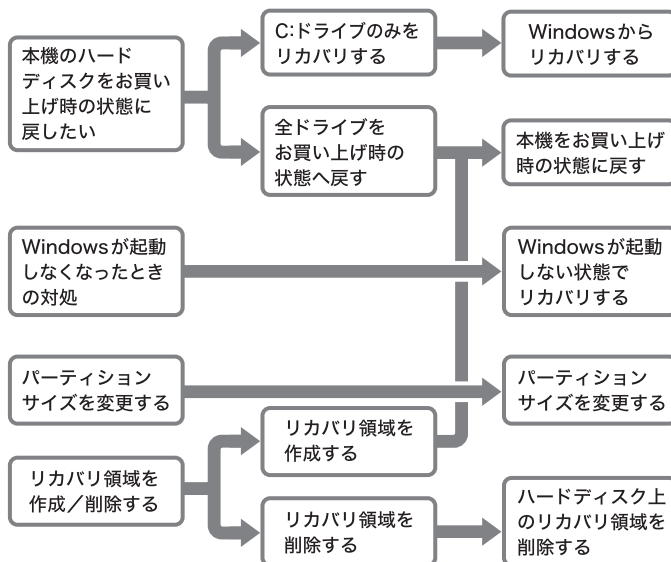
リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

❏ C:ドライブをリカバリする

Windowsからリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。
Windowsが起動しない状態でリカバリ	

❏ パーティションサイズを変更してリカバリする

パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。

❏ お買い上げ時の状態にリカバリする

本機をお買い上げ時状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時状態に戻します。その後、ハードディスク内蔵フラッシュメモリーをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。

また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を削除することができます。

❏ ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。

リカバリの準備(バックアップ)

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」(132ページ)の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ヒント

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いで、バックアップデータをCDなどのディスクにコピーする場合は、別売りの専用ドライブ(DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4)などが必要です。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

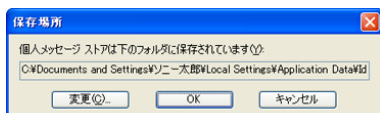
1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ツール]メニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

3 [メンテナンス]タブをクリックして[保存フォルダ]をクリックする。

「保存場所」画面が表示されます。

4

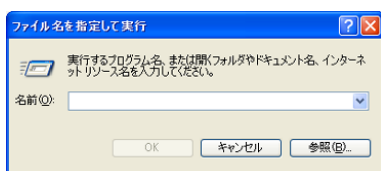
「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。

5

再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。

6

[スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7

「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

8 表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

！ご注意
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

リカバリ前に確認してください

- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いでリカバリディスクを作成・使用する場合は、別売りの専用ドライブ（DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4）などが必要です。
- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  詳しくは「パワーオン・パスワードを設定する」（76ページ）をご覧ください。

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

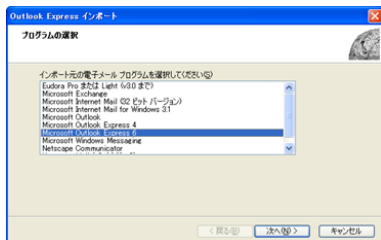
ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタをあわせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録（52ページ）が必要です。

！ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ヒント
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いで、ご自分でリカバリディスクを作成される場合は、別売りの専用ドライブ（DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4）などが必要です。

!ご注意
下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

!ご注意
リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリツール]にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 [リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。
CD-RW/DVDドライブモデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4 使用するディスクを選択する。

ディスクの種類と必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

！ご注意

- CD-Rではリカバリディスクを作成できない機種もあります。その場合はDVDをお使いください。
- Blu-ray Disc、DVD+RW、DVD-RW、DVD-RAMまたはCD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」（231ページ）をご覧ください。

5 [次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6　[作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7　指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。
ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

！ご注意
リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

8　ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面（データが記録されていない面）に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

！ご注意
ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

9　[OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

ヒント
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with Power Point 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合、リカバリするためにはディスクドライブが必要になります。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、[VAIO リカバリユーティリティ]を起動する前に、あらかじめ別売りの専用ドライブ(DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4)などを接続しておいてください。

Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(136ページ)をご覧ください。

ヒント
指紋センサー搭載モデルをお使いの場合
パワーオンセキュリティを有効にしている場合は、無効にしてからリカバリを行ってください。(78ページ)
リカバリ完了後、再度パワーオンセキュリティを設定してください。

!ご注意
「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」を[有効(外部機器・メディアを使用できません)]に設定している場合は、設定を[無効(外部機器・メディアを使用できます)]に変更してから、以下の手順を行ってください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリツール]にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。**

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント
「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(137ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 [はい]をクリックする。

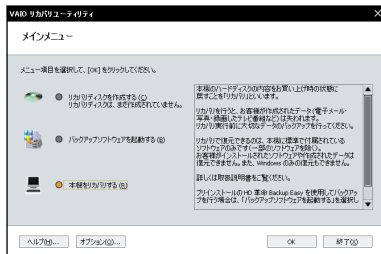
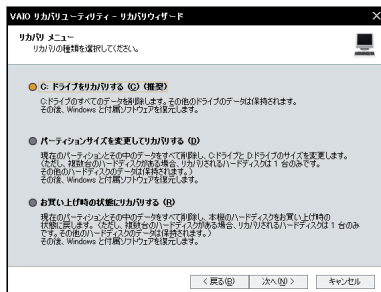
「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(40ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

11 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。
リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007がプリインストールされていないモデルをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

ヒント
一部のモデルでは、「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されません。その場合は、リカバリは終了しているので、これ以降の手順は不要となります。

!ご注意
Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

12 インストール開始画面が表示されるので、Office Personal 2007、OfficePersonal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007をインストールする。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント
Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。
引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順1から6と同じ手順でインストールしてください。

⑦ [スタート]ボタン－[マイ コンピュータ]をクリックして表示された画面で、[ローカル ディスク(C:)]－[Program Files]－[Office12]－[Hotfix]をダブルクリックする。

⑧ [office-kb938574-fullfile-x86-ja-jp(.exe)]をダブルクリックする。
アップデートが開始されます。

⑨ アップデートが完了したら、[はい]をクリックし、本機を再起動する。

13 再起動後表示されたインストール開始画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

14 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。(128ページ)

1 ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

4 [Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

5 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。
ディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、まず手順1～3を行い、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してドライブにリカバリディスクを入れてください。そのあとに手順4を行ってください。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、まず別売りの専用ドライブ(DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4)を本機に接続してから手順1～3を行い、ドライブにリカバリディスクを入れてください。そのあとに手順4を行い、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押してください。

!ご注意
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。
  何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(137ページ)をご覧ください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブなど)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

6 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

7 「Windowsからリカバリする」(132ページ)の手順4以降の操作を行う。

本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意

- この操作を行うと、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。
- 「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」を[有効(外部機器・メディアを使用できません)]に設定している場合は、設定を[無効(外部機器・メディアを使用できます)]に変更してから、以下の手順を行ってください。

1 ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、ドライブを取り付ける。

ディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、手順2へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

3 [スタート]ボタンー[終了オプション]をクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

4 30秒ほど待ってから ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押してください。再びVAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動します。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブなど)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

5 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

6 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

7 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

8 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

9 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

11 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

12 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

13 「Windowsからリカバリする」(132ページ)の手順9以降の操作を行う。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。C:ドライブにはWindows OSやプリインストールされているソフトウェアが保存されており、D:ドライブは動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

ヒント

本機のハードディスクのパーティションサイズについて

「パーティションサイズを変更するには」の手順2までを行っていただくことにより、現在のパーティションサイズを確認することができます。確認したら、[キャンセル]をクリックしてください。

お買い上げ後に、多くのソフトウェアを追加でインストールしたり、容量の大きなファイルをC:ドライブに保存すると、C:ドライブの空き容量が少なくなり、本機の動作が不安定になることがあります。容量の大きな動画ファイルなどは、D:ドライブに保存することをおすすめします。
本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(142ページ)
パーティションサイズの変更やリカバリ領域の削除を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ／D:ドライブともに失われてしまいます。これらの操作は、本機のご使用前に行うことをおすすめします。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

!ご注意

- この操作を行うと、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはC:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。
- 「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」を[有効(外部機器・メディアを使用できません)]に設定している場合は、設定を[無効(外部機器・メディアを使用できます)]に変更してから、以下の手順を行ってください。

1 「Windowsからリカバリする」(132ページ)の手順1～4を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの分割のしかたをドロップダウンリストから選択し、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

ヒント

「数値入力」を選択すると、指定された範囲のサイズを入力することができます。

！ご注意

- パーティションサイズの選択でC:ドライブの容量を大きくした場合は、D:ドライブの容量が不足し、バックアップソフトウェアによるバックアップができなくなる可能性があります。
- D:ドライブのサイズを小さくした場合は、D:ドライブをデータの保存先としているソフトウェアをご使用になる前に、データの保存先をC:ドライブに変更することをおすすめします。
  データ保存先ドライブの変更については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリする」(132ページ)の手順7以降の操作を行う。

リカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のリカバリ領域を削除できます。

！ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成する」(128ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(137ページ)の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いで、リカバリ領域を削除するには、別売りの専用ドライブ(DVDスーパーマルチドライブ VGP-DDRW4)などが必要です。
- 「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」または「メモリースティック/SDメモリーカード/PCカード」を[有効(外部機器・メディアを使用できません)]に設定している場合は、設定を[無効(外部機器・メディアを使用できます)]に変更してから、以下の手順を行ってください。

1 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン－[終了オプション]をクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

3 30秒ほど待ってから⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押してください。再びVAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブなど)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

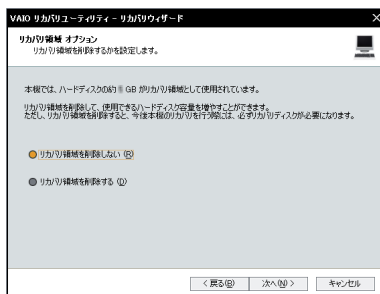
「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

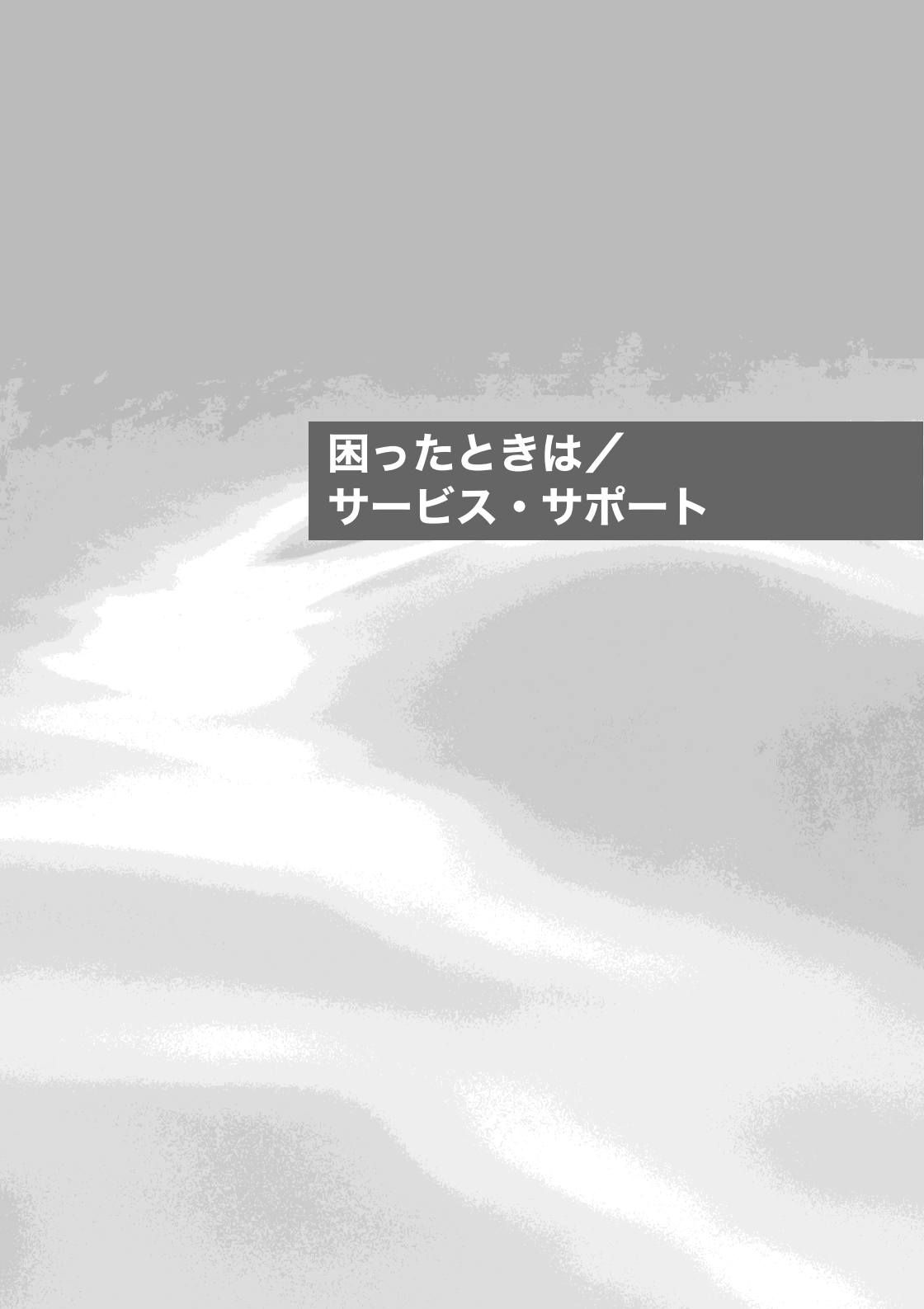
「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「実行確認」画面が表示されます。

8 ［はい］をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 引き続き内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」（132ページ）の手順7以降の操作を行う。

困ったときは／
サービス・サポート

困ったときはどうすればいいの？

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1 パソコンが起動しないときは『取扱説明書（本書）』をご覧ください。

パソコンが起動しないときは、本書の「よくあるトラブルと解決方法」の「電源／起動」（151ページ）をご覧ください。
また、起動はするが操作できない場合なども、「よくあるトラブルと解決方法」（148ページ）をご覧ください。

2 パソコンが動作するときは『バイオ電子マニュアル』をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックするとPDFマニュアルを起動することができます。
「電子マニュアル」が起動したら、「よくあるトラブルと解決方法」内のトラブルの内容にあった項目をご覧ください。

ヒント

ソフトウェアの使いかたについて

ソフトウェアの使いかたや疑問の解消には、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。また、Windowsに関する使いかたや疑問の解消については、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。「ヘルプとサポートセンター」については、「ヘルプとサポートセンターを見る」（178ページ）をご覧ください。

3 最新の情報は『VAIOカスタマーリンク ホームページ』でご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンクホームページのご利用方法については、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（179ページ）をご覧ください。

4 いずれの方法でも解決しない場合はお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク[*1]
（0466）30-3000
（平日：10時～21時、土、日、祝日：10時～17時）

■バイオについてのお問い合わせ
「VAIOカスタマーリンク」にお問い合わせください。詳しくは、「電話で問い合わせる」（195ページ）をご覧ください。
■本機の付属ソフトウェアについてのお問い合わせ
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（213ページ）に掲載されているそれぞれのソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。

*1　お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合せ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ヒント

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールを使って、ハードウェアをチェックすることもできます。起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[VAIOハードウェア診断ツール]にポインタをあわせ、[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

よくあるトラブルと解決方法

よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

Q&A一覧

この説明書に記載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（151ページ）

- 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）がつかないとき）
- 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（🔋がすばやく点滅している）
- 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。
- 電源を入れてからVAIOのロゴマークが表示されるまで時間がかかる。

❑ パスワード（156ページ）

- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのインターネット接続パスワードの文字数が増えている。

❑ ハードディスク／内蔵フラッシュメモリー（157ページ）

- 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）
- リカバリ領域の容量を知りたい。

❑ 画面／ディスプレイ（159ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画像が乱れる。
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

❑ 文字入力／キーボード（161ページ）

- Caps LockキーやCtrlキーが効かない。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

❑ タッチパッド（164ページ）

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
- Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

❑ CD／DVD（166ページ）

- CD/DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

❑ LAN／ワイヤレスLAN（167ページ）

- ネットワーク（LAN）に接続できない。
- ワイヤレスLANが使えない。
- ワイヤレス機能が選択できない。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）。
- ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。
- ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。
- コンピュータ同士（Ad hocモード）で通信できない。
- 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。
- 本機と従来チャンネルのIEEE 802.11aアクセスポイントの接続を行いたい。
- ワイヤレスLANの通信を終了したい。

❑ Bluetooth機能（172ページ）

- Bluetooth機能が使えない。
- ワイヤレス機能が選択できない。
- Bluetooth機能で通信できない。
- 通信相手の機器が表示されない。
- データ転送速度が遅い。
- Bluetooth機能を終了できない。
- 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。
- 制限付きユーザーアカウントでBluetooth通信できない。
- ユーザーの切り替え先でBluetooth Utilityが使用できない。
- IPアドレスを指定してBluetooth通信できない。
- 他のBluetooth機器に接続できない。
- Bluetooth Audio機能を使用するとシステムが不安定になる。

❑ USB（175ページ）

- 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

❑ **エラーメッセージ**（176ページ）

- Input Onetime Password
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- NTLDR is missing. Press any key to restart.
- Operating system not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- 書き込み禁止
- ccApp.exeが応答しません

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。
「バイオ電子マニュアル」は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックするとPDFマニュアルを起動することができます。

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）がつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（34ページ）

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。

また、ウォールマウントプラグアダプタをご使用の場合は、ウォールマウントプラグアダプタとACアダプタ、ウォールマウントプラグアダプタとコンセントがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。（36ページ）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露（220ページ）が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（▭がすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（34ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。
- Sボタンを押してください。（Sボタンの機能に「外部出力」が割り当てられている場合）

A メモリモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。

サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。

ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露（220ページ）が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[電源を切る]をクリックしてください。

ヒント
- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（34ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（140ページ）

A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Input Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、🔒1（Num Lock）ランプや🔒A（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

1) 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2007年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2007＋Enterキーの順で入力します。

2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、［Yes］を選択して、Enterキーを押す。

⑥ ［Exit Setup］が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 確認画面が表示されるので、［Yes］を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーから起動できない。

A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A USB/i.LINK接続のストレージ機器が接続されているときは、取りはずしてください。

USBメモリ、USB接続の音楽プレーヤーやデジタルカメラ、USBやi.LINK（ディスクドライブ非搭載モデルのみ）接続のハードディスクなどが接続されている場合は取りはずしてください。

Q 電源を入れてからVAIOのロゴマークが表示されるまで時間がかかる。

A TPMを有効にした場合、起動時にセキュリティのチェックを行うため、VAIOのロゴマークが表示されるまで時間がかかります。

TPMの設定ができるのは、TPMセキュリティチップ搭載モデルのみです。

パスワード

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(87ページ)
(指紋センサー搭載モデル)

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(87ページ)
(指紋センサー搭載モデル)

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」からパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

Q Windows XPのインターネット接続パスワードの文字数が増えている。

A Windows XPでは、セキュリティ機能の強化のため、画面に実際のパスワードを表示せず、「****************」と表示します。

画面上は、パスワードの文字数が16文字になっていますが、実際には最初に入力したパスワードが保存されています。そのままパスワードを入力してください。

ハードディスク／内蔵フラッシュメモリー

Q 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。

A ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにあったファイルは、復元できません。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(132ページ)

Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

1. [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。
2. 空き容量を知りたいハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのアイコンを右クリックする。
3. [プロパティ]をクリックする。
プロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。(ハードディスクドライブ搭載モデル)

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]にポインタをあわせ、[ディスク デフラグ]をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。

② [最適化]をクリックする。
最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックし、「リカバリ領域」の容量を確認する。

ヒント

1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。

タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。
- Sボタンを押してください。（Sボタンの機能に「外部出力」が割り当てられている場合）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スタンバイ）。

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中は、スタンバイへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「最高（32ビット）」になっているか確認してください。

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

[スタート]ボタン－[終了オプション]－[電源を切る]をクリックして電源を切り、本機の⏻（パワー）ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。

「静止画色補正」を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(パワー)ランプが消灯します。⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。)また、見る角度によって、すじ状の色むらや下辺に明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Q Caps LockキーやCtrlキーが効かない。

A Caps Lockキーと左Ctrlキーを入れ替える機能が有効になっている可能性があります。BIOSセットアップ画面で設定を変更してください。

次の手順で操作してください。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

③ ←または→キーで[Advanced]を選択し、表示された画面で[Swap Caps Lock and Ctrl]を選択する。
スペースキーを押して[No]に変更します。

④ ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。
確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」 あ 般 CAPS KANA に、

英字入力モードのときは「A」 A 般 CAPS KANA になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26ページ)

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock(ナムロック)が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26ページ)

A キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

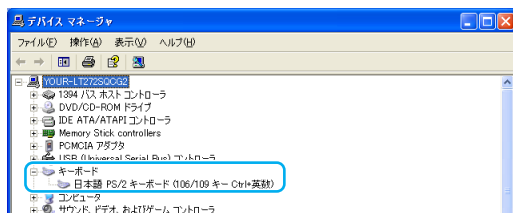
次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。

③ [システム]アイコンをクリックする。

④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。

ヒント

キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
2) [いいえ、今回は接続しません]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
3) [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
4) [検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
5) [互換性のあるハードウェアを表示]をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で[(標準キーボード)]が選択されているか確認したあと、「モデル」から[日本語 PS/2 キーボード(106/109キー Ctrl+英数)]を選択し、[次へ]をクリックする。
6) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい]をクリックする。
7) 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
8) 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバの設定を変更してください。

なお、この操作は「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

！ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  – IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  – ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
  ツールバーから設定してください。
  – 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  – 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① [スタート]ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。

③ [システム]アイコンをクリックする。

④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。

⑤ キーボードの項目で[日本語PS/2 キーボード(106/109キーCtrl+英数)]をダブルクリックする。

⑥ 表示されたプロパティ画面で[ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックする。

⑦ [いいえ、今回は接続しません]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

⑧ [一覧または特定の場所からインストールする]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

⑨ [検索しないで、インストールするドライバを選択する]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

⑩ [互換性のあるハードウェアを表示]のチェックをはずす。

⑪ 表示された一覧の中から、製造元として[(標準キーボード)]、モデルとして[101/102 英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2 キーボード]の順に選択し、[次へ]をクリックする。
[デバイスのインストールの確認]が表示されることがありますが、その際は[はい]をクリックしてください。

⑫ [ハードウェアの更新ウィザードの完了]と表示されたら、[完了]をクリックする。

⑬「101/102 英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2 キーボードのプロパティ」で[閉じる]をクリックする。

⑭「システム設定の変更」が表示されるので、[はい]をクリックして再起動する。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。

それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [プリンタとその他のハードウェア]アイコンをクリックする。

③ [マウス]アイコンをクリックする。

④ [機能]タブをクリックする。

⑤ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。

⑥ [OK]をクリックする。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① ［スタート］ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］アイコンをクリックする。

③ ［マウス］アイコンをクリックする。

④ ［機能］タブをクリックする。

⑤ ［Webアシスト機能を使用する］のチェックをはずす。

⑥ ［OK］をクリックする。
設定が有効になります。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［コンピュータの電源を切る］を選び、Enterキーを押す。

それでも何も起こらないときは、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選び、Enterキーを押す。

それでも何も起こらないときは、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q CD/DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- ディスクの裏表を逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
- ディスクがきちんとドライブに装着されているか確認してください。
- スピンドル（軸）にディスクをはめ込むタイプのドライブでは、スピンドルにしっかりはめ込まれているか確認してください。

！ご注意

本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

A デスクトップ画面右下の通知領域にあるハードウェアの取り外しで、[USB大容量記憶装置デバイス]を取りはずすと、ドライブが使用できなくなることがあります。（ディスクドライブ搭載モデル）

ドライブが取りはずされると、ドライブが使用できなくなります。再びドライブを使用するには、以下の操作を行ってドライブを使えるようにしてください。

- デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、[電源オフ]を選択する。
- 「CD/DVDドライブの電源がオフになりました。」というメッセージが表示されたら、もう一度デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックして、[電源オン]を選択する。

Q ネットワーク（LAN）に接続できない。

A 接続状態を確認してください。

A 設定を確認してください。

ネットワークに接続するための設定について詳しくは、ADSLモデムや接続している周辺機器の取扱説明書を参照してください。職場などでは、職場のネットワーク管理担当者にご確認ください。

A 「電源オプションのプロパティ」画面の「VAIO 省電力設定」タブで「ネットワーク（LAN）」の設定を「電源オフ」にしている場合は、ネットワーク（LAN）は使用できません。

「ネットワーク（LAN）」の設定を「電源オン」に変更してください。

Q ワイヤレスLANが使えない。

A ワイヤレススイッチが「ON」になっているか確認してください。

A 本機に内蔵されているワイヤレスLAN機能を使うには、通信するための設定を行う必要があります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

A 本機のワイヤレスLANの設定を確認してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

A Wireless Zero Configurationサービスが開始されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

① ［スタート］－［コントロール パネル］をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

③ ［管理ツール］アイコンをクリックする。

④ ［サービス］アイコンをダブルクリックする。

⑤ 「Wireless Zero Configuration」の項目を確認する。
状態が「開始」、スタートアップの種類が「自動」になっている場合、Wireless Zero Configurationサービスは開始されています。

ヒント

Wireless Zero Configurationサービスが開始されていない場合、次の手順でサービスを開始してください。

1) 「Wireless Zero Configuration」を右クリックして［プロパティ］をクリックする。
「Wireless Zero Configuration のプロパティ」画面が表示されます。
2) スタートアップの種類を「自動」にし、［適用］をクリックする。
3) サービスの状態の［開始］ボタンをクリックする。
4) ［OK］をクリックし、画面を閉じる。

Q ワイヤレス機能が選択できない。

A デスクトップ画面右下の通知領域に 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンが表示されていることを確認してください。

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① [スタート]ボタン－[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「ワイヤレス機能の選択」画面にワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]－[ネットワークとインターネット接続]－[ネットワーク接続]をクリックする。

② [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。

③ 通知領域の 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンを右クリックし、[終了]を選ぶ。

④ [スタート]ボタン－[マイ コンピュータ]をクリックする。

⑤ [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

Q 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。

A 上記の「ワイヤレスLANが使えない。」の項目を確認してください。

A ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

A ワイヤレスLANアクセスポイントの設定を確認してください。

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書や、契約されているプロバイダの設定方法のしおりなどをご覧ください。

A 本機とワイヤレスLANアクセスポイントが接続されているか確認してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

A 通信機器間の通信可能な距離は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 「ワイヤレス ネットワーク接続」画面の「ワイヤレス ネットワークの選択」の一覧にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

④ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレス ネットワークの表示]をクリックする。
「ワイヤレス ネットワーク接続」画面が表示されます。

⑤ 「ワイヤレス ネットワークの選択」にワイヤレスLANアクセスポイントが表示されているか確認する。

A 入力したネットワーク キーが間違っていることがあります。

セキュリティ上、1度設定したネットワーク キーは「＊」で表示され、確認することはできません。再度入力し直してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]ー[ネットワーク接続]をクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

④ [ワイヤレス ネットワーク]タブをクリックする。

⑤ 「優先ネットワーク」のリストから確認したいものを選び、[プロパティ]をクリックする。

⑥ 「ネットワーク キー」を入力し直し、[OK]をクリックする。

⑦ 「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面で[OK]をクリックし、画面を閉じる。

A 「ワイヤレス ネットワーク接続」がネットワークブリッジとして形成されている場合は、ワイヤレスLANを使って通信することができません。

次の手順で操作して、ネットワークブリッジを削除してください。

① [スタート]ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。
「ネットワークブリッジ」の項目に「ワイヤレス ネットワーク接続」アイコンが表示されている場合は、ネットワークブリッジが形成されています。

④ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[ブリッジから削除]をクリックする。
ネットワークブリッジが削除されます。

A インターネットからのアクセスを制限する設定がされている場合は、通信できない場合があります。

次の手順で操作して、アクセス制限の設定を変更してください。

① [スタート]ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

③ [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

④ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

⑤ [詳細設定]タブをクリックする。

⑥ 「Windows ファイアウォール」の[設定]をクリックし、必要に応じて設定を変更する。
確認画面が表示されます。

⑦ [はい]をクリックする。

ヒント
Windows ファイアウォール以外のファイアウォールを使用している場合は、必要に応じて設定を変更してください。詳しくは、お使いのファイアウォールソフトウェアのヘルプをご覧ください。

A 職場のワイヤレスLANアクセスポイントに接続する際の設定等については、職場のネットワーク管理担当者にご確認ください。

Q ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。

A 本機の配置を変えたり、ワイヤレスLAN製品に近づけたりして、電波の受信環境を変えてください。

ワイヤレスLANの通信速度や通信状態は、実際の通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、壁の有無・素材などの周辺の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。

A ワイヤレスLANアクセスポイントへのアクセスが集中している可能性があります。

時間をおいてから、もう1度アクセスしてください。

A アクセスポイントのチャンネル設定を変更してください。帯域干渉による影響が無くなり、通信速度が改善する場合があります。

チャンネル帯域の干渉が起こると通信速度が低下することがあります。

A 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している場合は、ワイヤレスLANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。

設定について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 電子レンジを近くで使用していないか確認してください。

2.4 GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。ワイヤレスLANでの通信中に周囲で電子レンジを使用していると、場合によっては通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

Q ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。

A Windowsのネットワーク設定を確認してください。

ネットワーク設定について詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

A 他のコンピュータがワイヤレスLANネットワークの中に存在しない場合は表示されません。

Q コンピュータ同士（Ad hocモード）で通信できない。

A ワイヤレスLANアクセスポイントとの通信設定が行われていると、Ad hocモードでの通信が行えないことがあります。

次の手順で操作して、通信設定を変更してください。

① [スタート]ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② [ネットワークとインターネット接続]－[ネットワーク接続]をクリックする。

③ [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

④ [ワイヤレス ネットワーク]タブをクリックする。

⑤ [詳細設定]をクリックし、「アクセスするネットワーク」で[コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ]を選んでから、[閉じる]をクリックする。

⑥ [OK]をクリックする。

Q 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認したい。

A 本機の内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス（MACアドレス）を確認してください。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[アクセサリ]にポインタをあわせ、[コマンド プロンプト]をクリックする。
「コマンド プロンプト」画面が表示されます。

② 「ipconfig /all」と入力し、Enterキーを押す。

③ 「Ethernet adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「Physical Address」欄で、物理アドレス（MACアドレス）を確認する。

Q 本機と従来チャンネルのIEEE 802.11aアクセスポイントの接続を行いたい。

A 本機は、従来チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うことができます。

新拡張チャンネルの5 GHzワイヤレスLANアクセスポイントとの接続を行うこともできます。

電波法改正後の従来チャンネルのワイヤレスLAN対応機器と新チャンネルのワイヤレスLAN対応機器の互換性については、「バイオ電子マニュアル」の「新拡張チャンネル（IEEE 802.11a／IEEE 802.11n ドラフト仕様）の対応について」をご覧ください。

Q ワイヤレスLANの通信を終了したい。

A ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。

ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスLANランプが消灯します。

Bluetooth機能

Q Bluetooth機能が使えない。

A Bluetoothランプが点灯していることを確認してください。

Bluetoothランプが消灯している場合は、Bluetooth機能が使えません。ワイヤレススイッチを「ON」にあわせ、Bluetoothランプがブルーに点灯するようにしてください。

A Bluetooth機能が利用できる設定になっているか確認してください。

デスクトップ画面右下の通知領域に LAN 、 B LAN または B などの「ワイヤレススイッチ」アイコンが表示されていることを確認してください。

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① ［スタート］ボタンー［マイ コンピュータ］をクリックする。

② ［ローカル ディスク（C:）］－［Program Files］－［Sony］－［Wireless Switch Setting Utility］－［Switcher］をダブルクリックする。

Q ワイヤレス機能が選択できない。

A デスクトップ画面右下の通知領域に 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンが表示されていることを確認してください。

アイコンが表示されていないときは、ワイヤレス機能の選択ができません。

次の手順で操作して、アイコンを表示させてください。

① [スタート]ボタン－[マイ コンピュータ]をクリックする。
② [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

A ワイヤレス機能を無効に設定した後、再起動すると、「ワイヤレス機能の選択」画面にワイヤレス機能の選択表示がされないことがあります。

次の手順で操作して、ワイヤレス機能の表示がされるようにしてからワイヤレス機能を選択してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]－[ネットワークとインターネット接続]－[ネットワーク接続]をクリックする。
② [ワイヤレス ネットワーク接続]アイコンを右クリックして[有効にする]を選ぶ。
③ 通知領域の 、 または などの「ワイヤレススイッチ」アイコンを右クリックし、[終了]を選ぶ。
④ [スタート]－[マイ コンピュータ]をクリックする。
⑤ [ローカル ディスク (C:)]－[Program Files]－[Sony]－[Wireless Switch Setting Utility]－[Switcher]をダブルクリックする。

Q Bluetooth機能で通信できない。

A 下記の「通信相手の機器が表示されない。」の項目を確認してください。

A 接続したい機器との認証を確認してください。

機器によっては、認証されていない機器間の接続を拒否するように設定されています。接続するには、接続する機器との認証が必要になります。

Q 通信相手の機器が表示されない。

A 通信機器間の距離を10 m以内に近づけてください。

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以上ある場合は通信できません。

本機と通信相手の機器間の距離が10 m以内でも、機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどによって、通信できない場合があります。本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離をさらに近づけてください。

A 通信先のBluetooth機能がオンになっているか、または通信先の機器が省電力動作モードになっていないか確認してください。

A 通信先のBluetooth対応機器が、Bluetooth機能を使用できる状態になっているか確認してください。

状態の確認方法について詳しくは、通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

A 通信相手が他の機器と接続している場合は、通信相手として表示されなかったり、本機と通信できない場合があります。

Q データ転送速度が遅い。

A 本機と通信相手の機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどによって、データ転送速度は変化します。

本機の設置場所を移動するか、通信機器間の距離を近づけてください。

A 1台のバイオでBluetooth機能とワイヤレス機能を同時に使用すると、通信速度などに影響を及ぼす場合があります。

A 通信相手のBluetooth対応機器の仕様が「Version2.0+EDR」ではない場合、最大速度は721 kbpsになります。

Q Bluetooth機能を終了できない。

A ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせて、Bluetoothランプを消してください。

Bluetooth通信の終了方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の「Bluetooth通信を終了するには」をご覧ください。
Bluetoothランプが消えても終了できない場合は、「電源を切るには」（38ページ）の手順に従って電源を切ってください。本機の電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、電源を切ります。

Q 通信先のBluetooth対応機器が対応しているサービスで接続できない。

A 本機が対応しているサービスでのみ接続できます。

対応しているサービスについて詳しくは、「Bluetoothユーティリティ」ソフトウェアのヘルプおよび通信先のBluetooth対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Q 制限付きユーザーアカウントでBluetooth通信できない。

A 制限付きユーザーアカウントでBluetooth通信を行うと、正常に動作しない場合があります。

その場合は、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

Q ユーザーの切り替え先でBluetooth Utilityが使用できない。

A ログオフせずにユーザー切り替えを行った場合は、切り替え先のユーザーアカウントでBluetooth Utilityは正常に動作しません。

ログオフしてからユーザー切り替えを行ってください。

Q IPアドレスを指定してBluetooth通信できない。

A PAN（Personal Area Network）サーバー上で固定IPアドレスを指定した場合は、正常に動作しません。

本機に搭載されているBluetooth Utilityは、DHCPによってIPアドレスが自動的に割り振られます。PANサーバーを使用する場合は、IPアドレスを指定せずに通信を行ってください。

Q 他のBluetooth機器に接続できない。

A 通信相手の機器がPANU（Personal Area Network User）しかサポートしていない場合は、本機との接続はできません。

Q Bluetooth Audio機能を使用するとシステムが不安定になる。

A Bluetooth Audio機能を使用して音楽や映像の音を聞く場合、音楽や映像の再生ソフトウェアを起動中にBluetooth Audio接続に切り替えるとシステムが不安定になる場合があります。

Bluetooth Audio機器を接続してから、再生ソフトウェアを起動してください。

USB

Q 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

A USB機器への書き込みを制限をしている可能性があります。

「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」で「USB」の設定を「有効（書き込みできません）」にしている場合は、本機に取り付けたUSBメモリやハードディスクなどへの書き込みができなくなります。

USB機器へ書き込みを行う場合は、「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」で「USB」の設定を「無効（書き込みできます）」にしてください。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q Input Onetime Password

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q NTLDR is missing. Press any key to restart.

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q Operating system not found

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A「電源／起動」(155ページ)をご覧ください。

Q System Disabled

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A「電源／起動」(154ページ)をご覧ください。

Q 書き込み禁止

A 「USB」(175ページ)をご覧ください。

Q Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

A メッセージが表示されても、本機のご使用に関して問題はありません。

Windowsを終了するときや本機を再起動するときに、「ccApp.exe が応答しません」というメッセージが表示されても、本機の動作には影響はありません。
詳しくは「Norton Internet Security」ソフトウェアの製造元であるシマンテック社で情報が公開されています。

バイオ内の情報を調べる

本機には、「バイオ電子マニュアル」が付属しています。基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。この説明書とあわせてご覧ください。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。
さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（146ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」を起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[バイオ電子マニュアル]をクリックします。

ヘルプとサポートセンターを見る

[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックすると「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決やさらに活用するための各種情報、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供していますので、定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意
この説明書内の「サービス・サポート」の内容は、2007年6月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせて、[Internet Explorer]をクリックする。

2 画面上部の[お気に入り]をクリックして[2.VAIOサポートページ]ー[1 サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

目的別に絞りこんだ4つのメニューを中心に、シンプルで探しやすいトップページをご用意しています。

4つのメインメニュー

❑ 学ぶ・楽しむ

バイオをより活用したい、楽しみたい、という方はこちらをご利用ください。
やりたいこと別、ソフトウェア別、初心者の方向け、機種別などさまざまな切り口で、バイオを楽しむための活用方法をわかりやすくご紹介しています。
また、セミナーや個人レッスンもご紹介しています。

❑ 調べる・トラブル解決

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。
問題を解決するための各種情報をわかりやすくご提供しています。

- 製品別サポート情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
  お客様のバイオ専用のサポート情報ページをご用意しています。
  ご所有の製品に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご提供しております。
  ご所有製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
  詳しくは、「製品別サポート情報」(183ページ)をご覧ください。
- Q&A検索
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/qa/
  キーワードや文章などを入力してQ&A(VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答)を検索することができます。
  また、カテゴリー別やエラーメッセージ別などに分類された「よくある質問」から、Q&Aを検索する方法もご用意しています。
- 製品接続情報
  各周辺機器メーカー様からご提供いただいた接続情報、バイオをお使いの皆様からVAIO Hot Streetに投稿していただいた接続情報など、バイオにつながる製品の接続情報をご提供しています。

❑ 修理・その他サービス

- 修理関連のご案内
  故障かな?と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報をご提供しています。
- その他サービス
  バイオの設置・設定、インターネットセキュリティ、ソニー純正メモリーやハードディスクなどでのバイオアップグレード、延長保証、リカバリディスク送付など、各種有料サービスをご案内しています。
  サービス内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」(208ページ)をご覧ください。

❑ お問い合わせ

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
ホームページから電話サポートの予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げる「VAIOコールバック予約サービス」(186ページ)、オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内する「VAIOリモートサービス」(189ページ)も、こちらからご利用いただけます。

その他

❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/

VAIOカスタマーリンクからお客様への重要なお知らせや最新のお知らせを掲載しています。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

バイオをご使用になる際のセキュリティ関連の最新情報を掲載しています。
インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃やウイルスによる被害が増えてきています。
バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックし、必要な対策をとられることを強くおすすめします。

❑ おすすめサポート情報

VAIOカスタマーリンクが特におすすめするサポートメニューやコンテンツをご紹介しています。

！ご注意
おすすめサポートの内容は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 初心者コーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
  初心者の方が知りたい情報をわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「初心者コーナー」(184ページ)をご覧ください。
- バックアップ講座
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/
  バイオに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。
  大切なデータの保護にお役立てください。

❑ Mobile(モバイル)

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

携帯電話向けのサポートサイトです。
ウイルス・セキュリティ情報などの最新サポート情報や修理見積、修理進捗状況など修理関連情報をご提供しています。
詳しくは、「携帯電話向けVAIOサポートサイト」(194ページ)をご覧ください。

❑ MySupporter(マイサポーター)

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有機種に対応したサポート情報を自動表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

❑ VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
お客様同士でバイオに関する投稿や質問、回答をやりとりしていただけます。
詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」(193ページ)をご覧ください。

代表的なサポートメニュー

VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

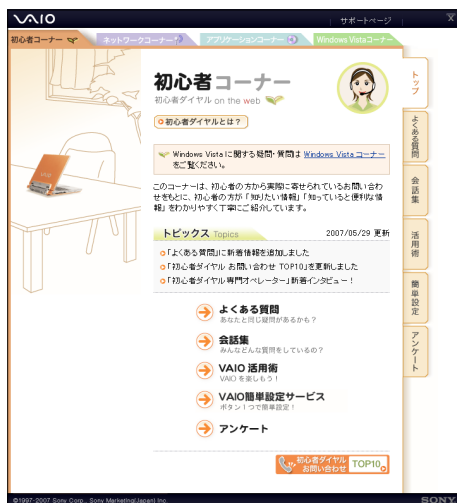
http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「調べる・トラブル解決」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」(180ページ)をご覧ください。

初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページのトップページからアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（180ページ）をご覧ください。

その他のコーナー

初心者コーナーの他に3つのコーナーをご用意しています。

ヒント

それぞれのタブをクリックすると各コーナーがご覧いただけます。

ネットワークコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/

アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

VAIOコールバック予約サービス

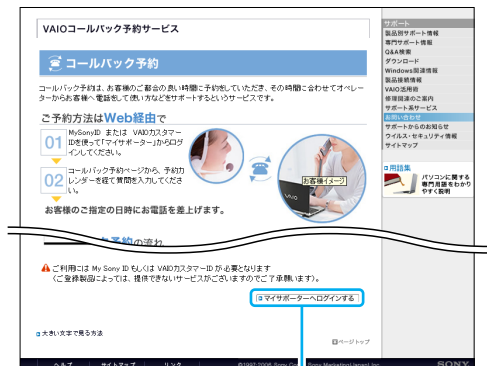
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

ヒント
VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（VAIOコールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日 10：00～ 21：00
土曜、日曜、祝日 10：00～ 17：00

本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOコールバック予約サービス]をクリックする。

2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

ここをクリックする

IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDがご利用いただけます。

3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

4　画面に従って操作する。

ヒント

「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。
難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

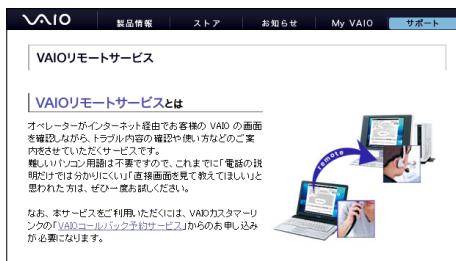
！ご注意

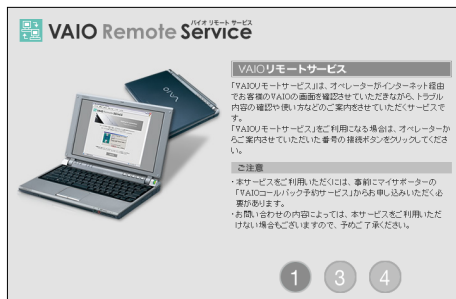
- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（186ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（186ページ）をご覧ください。

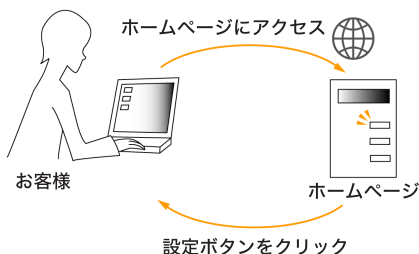
2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

3 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある［VAIOリモートサービス］をクリックする。

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

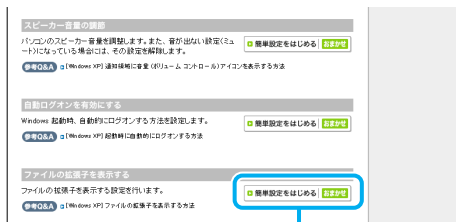
5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK]をクリックする。

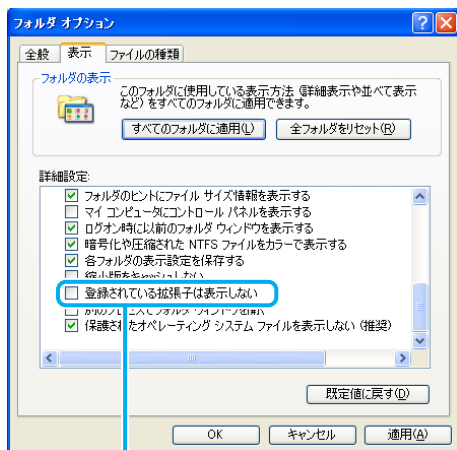
7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

VAIO簡単設定サービス

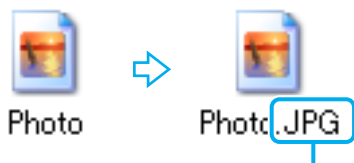
ホームページ上の設定ボタンをクリックするだけで、複雑なパソコン設定を自動で行ったり、設定手順を表示しながら解決へとナビゲートします。

1 VAIOカスタマーリンク ホームページの「VAIO簡単設定サービス」のページにアクセスします。

2 設定したい項目の[簡単設定をはじめる]ボタンをクリックします。

ここでは、例として「ファイルの拡張子を表示する」設定を実行します。

3 「VAIO簡単設定サービス」のモジュールが自動的にダウンロードされ、設定の準備が行われます。

4 [続ける]ボタンをクリックして設定を開始すると、変更手順を表示しながら自動的に設定変更が実行されます。

5 「VAIO簡単設定サービス」が完了すると、お客様のバイオの設定が変更されています。

この例では、ファイルの拡張子が表示されるようになりました。

！ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、インターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、Windows XPを搭載のバイオ専用のサービスです。
- 本サービスをご利用の際は、ほかのアプリケーションをすべて終了させてください。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

！ご注意
投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話向けVAIOサポートサイト

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、携帯電話向けのVAIOサポートサイトです。

＜主なコンテンツ＞

❑ お知らせ

サポートの最新情報やウイルスの情報および対策手順を掲載しています。
マイクロソフト社が提供するセキュリティ最新情報もご確認いただけます。

❑ Q&A

最近多く寄せられたお問い合わせや新しく作成・更新されたQ&Aなどの一覧を掲載しています。
またQ&Aや用語集の検索もご利用いただけます。

❑ サポート系コンテンツ

- 修理お預かり情報
  VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関して、下記のサービスをご提供しています。
  - 修理進捗状況（7段階）の確認
    （受付待ち、故障診断／修理中、見積案内中、修理中、出荷準備中、出荷済み、修理中止）
  - 見積発行時および修理完了時に携帯メールへお知らせ
  - 修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付
  - 返送先の変更

！ご注意
見積案内および修理完了案内メールを受信するには、事前に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にて、携帯メールアドレスのご登録が必要です。

- VAIO Hot Street モバイル
  バイオをお持ちのお客様による情報交換サイト「VAIO Hot Street」に寄せられた投稿や質問を掲載しています。

＜アクセス方法＞

❑ URLからアクセス

下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
（対応端末：i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

❑ QRコードからアクセス

バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号:(0466)38-1410

(ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ)

受付時間:月曜〜金曜日　10時 〜 18時 (土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

http://www.vaio.sony.co.jp/regist

!ご注意

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

電話でのサポートをご利用の前に

❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」(178ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(179ページ)では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

❑ 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)の「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況]をクリックします。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。

平日:12:00 〜 18:00　土曜、日曜、祝日:15:00 〜 17:00

(2007年6月現在)

❑ お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています）
② 本機の製造番号（保証書などに記載されている7桁の番号です）
③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
（発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。）
④ 本機に接続している**周辺機器名**（メーカー名と型名）
⑤ 表示された**エラーメッセージ**
⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑨ その他お気づきの点

❑ お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000
受付時間 平日：10：00 ～ 21：00　土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00　（365日年中無休）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

！ご注意
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

！ご注意
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIO**コールバック予約サービス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」(186ページ)をご覧ください。
- **VAIO**リモートサービス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」(189ページ)をご覧ください。

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(213ページ)をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

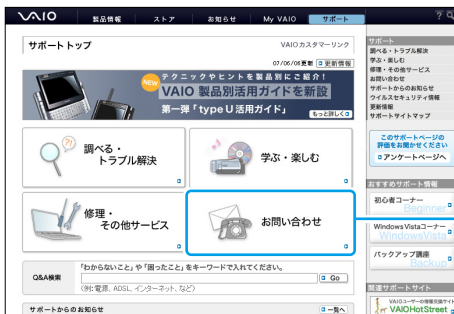
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は
電話番号:**(0466)30-3016**
受付時間:平日　**10:00 ～ 21:00**　土曜、日曜、祝日　**10:00 ～ 17:00**

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（52ページ）をご覧ください。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「メールでのお問い合わせ」を選び、「マイサポーターへログインする」ボタンをクリックする。

2 マイサポーターの「ログイン」ボタンからログインする。

ここをクリックする

3 [メールで相談]を選択し、[新規のお問い合わせ]をクリックする。

ヒント
以前のお問い合わせを継続する場合は、[継続のお問い合わせ]を選択します。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「バイオ電子マニュアル」で調べたり（178ページ）、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（179ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。
  修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

修理依頼の手順

VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント

引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。(集配および梱包料は、ソニー負担です。)

!ご注意

- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。)
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証(無料修理)の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service(海外修理サービス)の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」(208ページ)をご覧ください。

1　保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。

紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（211ページ）より入手してください。

筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合

修理に関するご相談およびお申込みは

VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読みください

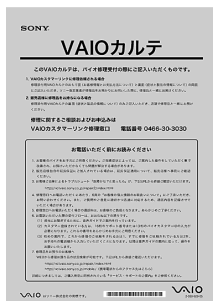
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/（携帯電話からのアクセス先はこちら）

VAIO はソニー株式会社の商標です。

VAIO

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

2　VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口

電話番号：**（0466）30-3030**

受付時間：平日：**10：00 ～ 21：00**　土曜、日曜、祝日：**10：00 ～ 17：00**　（**365**日年中無休）

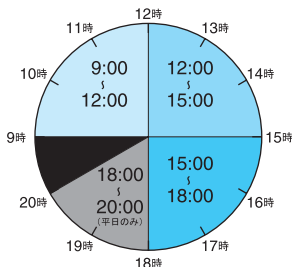
ヒント

- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2007年6月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00 ～ 12：00
- 12：00 ～ 15：00
- 15：00 ～ 18：00
- 18：00 ～ 20：00（平日のみ）

！ご注意

上記は2007年6月現在での選択可能な時間帯です。
一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

ヒント

受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。

- “メモリースティック”にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

！ご注意

- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。また、専用のバックアップツールを用意しているソフトウェアの場合は、専用のバックアップツールをご使用ください。
- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ(本機に付属しています。あらかじめご記入ください。)
- 保証書(保証期間中のみご用意ください。)
- 必要な付属品類

ヒント

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOカスタマーリンクホームページおよびVAIOカスタマーリンクモバイル(携帯電話用サポートサイト)では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼された方に、下記のサービスをご提供しております。

修理／お預かり品状況確認(VAIOカスタマーリンク ホームページ)

修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理お預かり情報(VAIOカスタマーリンク モバイル)

お預かりしている修理品の進捗状況(7段階)ご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、見積発行時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをご提供しています。

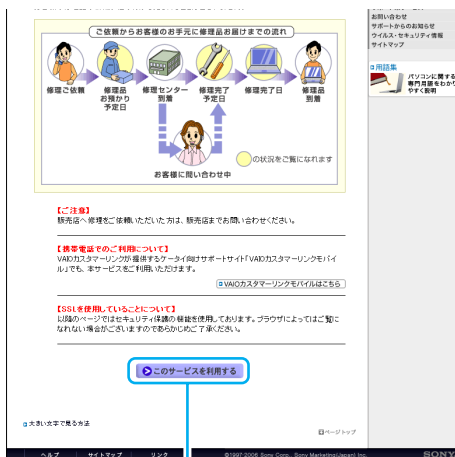
!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。
- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでお客様の携帯メールアドレスご登録が必要です。

❑ VAIOカスタマーリンク ホームページで確認する

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・その他サービス」にアクセスし、「修理関連のご案内」にある［修理／お預かり品状況確認］をクリックする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

2 ページ下の画面下の［このサービスを利用する］をクリックする。

3 画面に従って操作する。

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

1 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

ヒント

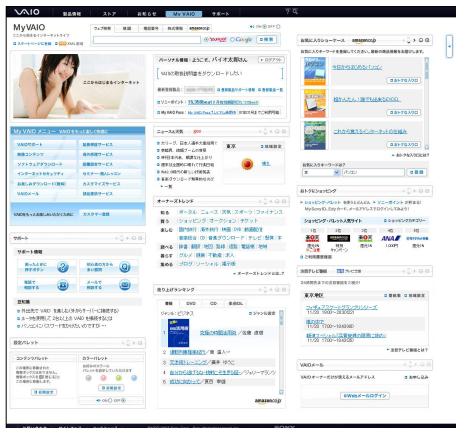
バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

2 「サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択し、ページ内の“確認のページはこちら”をクリックする。

3 画面に従って操作する。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2007年2月現在）

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（52ページ）をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム（有償）」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/

* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

！ご注意

2007年6月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

！ご注意

- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴

- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1 代替品提供の場合を除きます。
*2 代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。

また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意

- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】

VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。

インターネット設定パック

インターネットの接続・設定（有線・無線）、メール設定を行います。

VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】

上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。

データお引越しパック

お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。

パソコンリカバリーパック

トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。

OSアップグレード

新しいOSにアップグレード作業を行います。

ロケーションフリー設定パック

ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号：(0570)073-111（一般及び携帯電話）
電話番号：(03)5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間： 10：00 〜 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能（Webメール、データ保管など）も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品の提供について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。
ご注文方法
- ソニーサービスステーション（SS）で、部品をご注文いただく方法（SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。）
- マイサポーター（182ページ）でWebより部品をご注文いただく方法（対象機種のみ）（部品代＋送料・代引き手数料1,155円（税込）がかかります。）

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

！ご注意
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。（対象機種に限ります。）

HDDアップグレードサービス

ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。
動画を存分に楽しむためにも活用できます。

メモリアップグレードサービス

メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。

キーボード交換サービス

標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス

FAX番号:(0466)30-3040

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

!ご注意
一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(200ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェア」(230ページ)をご覧になるか、または[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

！ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]－[ユーザーアカウント]をクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

ビデオ再生

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Roxio DigitalMedia SE

ソニックサポートセンター

電話番号:(03)5232-6400

受付時間:10時〜12時、13時〜17時
(土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く)

電子メール:下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ:
http://www.sonicjapan.co.jp/support/

インターネット・メール

❑ Microsoft Internet Explorer(R)

VAIOカスタマーリンク

セキュリティー

❑ Norton Internet Security(TM)

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから!

http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号:
東京(03)5354-4500/大阪(06)6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ:

4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜:10時〜17時

(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く)

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間:
月曜〜金曜:9時30分〜12時、13時〜19時、
土曜、日曜:10時〜17時

(マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート

電話番号：
東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：

Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：
月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：

期間、回数の指定はありません。

こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜、日曜：10時～17時

（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader(無償配布ソフトウェア)に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。

ホームページ:
http://www.adobe.com/jp/support/

FeliCa(フェリカ)

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル

電話番号:(0570)081-999(ナビダイヤル)

(03)6420-5699

受付時間:平日:9時30分〜19時

土曜、日曜、祝日:10時〜18時

(1/1〜1/3と毎年2月第1日曜日を除く)

ホームページ:http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター

電話番号:
東京:(03)5412-3980／大阪:(06)6886-7160

受付時間:月曜〜金曜:10時〜19時、
土曜、日曜、祝日:10時〜17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]にポインタをあわせ、[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]をクリックして登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ:http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ハードディスク プロテクション

VAIOカスタマーリンク

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

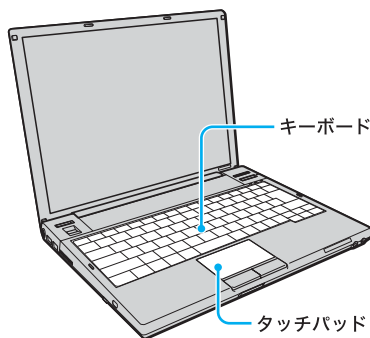
本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

防滴構造について

本機は、キーボード上に水などをこぼしてもパソコン内部への浸水を抑える構造をキーボードとタッチパッドに採用しています。

これは、キーボードにかかった水滴を底面の水抜き穴から排水することにより、本機内部に水滴がたまることを抑えるものであり、内部部品やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの故障・破損、データの破壊・消失などの防止を保証するものではありません。

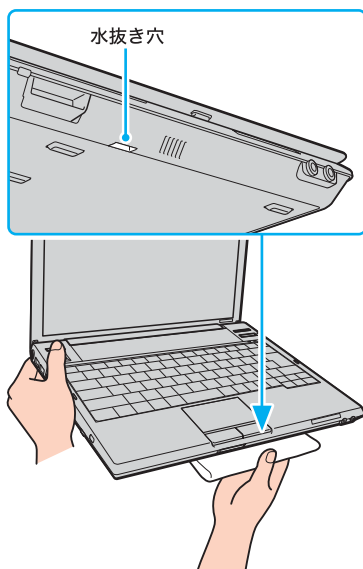
キーボードとタッチパッド以外は防滴構造ではありません。また、防滴構造は、浸水を完全に防ぐものではありません。

キーボードに水をこぼしたときは

万一、水などの液体をキーボード上にこぼしてしまったときは、こぼした水が少量の場合でも、必ず次のように処置してください。こぼしたまま放置すると、故障の原因になります。

①すぐに電源を切り、ACアダプタを抜く。

②キーボード上の水滴を、乾いた柔らかい布で拭く。

③ゆっくりと前方に傾けながら本機の後部を持ち上げて水を出す。
後方に傾けると、内部に浸水して故障の原因になります。

④そのまま底面の水抜き穴から出た水を乾いた柔らかい布で拭く。
底面に水滴が残らないように、しっかり拭き取ります。

⑤本機を乾いた場所に移動させる。
水が残っている場所に置いたままにしていると、底面から水が浸水する可能性があります。

⑥水滴を拭き取った後、バッテリを取りはずし、VAIOカスタマーリンクに点検を依頼する。

液体をこぼしたときは、必ず点検を依頼してください。

また、水などの液体をこぼしたことによる修理は、保証期間内でも有料となります。あらかじめご了承ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です。)また、見る角度によって、すじ状の色むらや下辺に明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに重い物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- バッテリを取り付ける際には、液晶ディスプレイにバッテリをぶつけないようにしてください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えると、液晶に傷や汚れが付いたりする場合があります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。

管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。

全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)または内蔵フラッシュメモリーが内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを取りはずさないでください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップについて

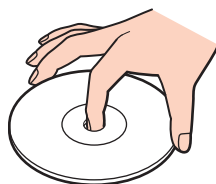
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

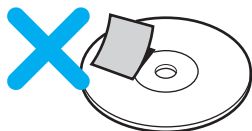
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任を負いかねます。

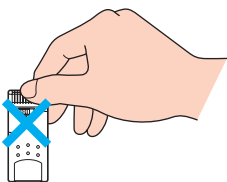
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。

“メモリースティックマイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティックマイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティックマイクロ”をメモリースティックマイクロアダプターに入れてから本機に挿入してください。
  メモリースティックマイクロアダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティックマイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティックマイクロデュオサイズアダプターに“メモリースティックマイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティックデュオアダプターに入れて使用すると動作しない場合があります。
  メモリースティックマイクロスタンダードサイズアダプターをお使いください。
- “メモリースティックマイクロ”、メモリースティックマイクロデュオサイズアダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

その他のメモリーカードについてのご注意

メモリーカードをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- 本機では、2007年5月時点で一般の販売店で購入できる2 Gバイトまでの SDメモリーカードおよび8 Gバイトまでの SDHCメモリーカードでのみ動作確認を行っています。ただし、すべてのSDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- 本機では、2007年5月時点で一般の販売店で購入できる主要なメモリーカードでのみ動作確認を行っています。
  ただし、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの著作権保護機能やハイスピード転送には対応していません。
- メモリーカードを挿入するときは、正しくスロットに入れてください。
- メモリーカードの向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとするとスロットやメモリーカード本体を破損するおそれがあります。詳しくは、メモリーカードの各メーカーの取扱説明書をご覧ください。
- miniSDカードはそのままではご使用になれません。
  miniSDカードはminiSDカードアダプタを装着してご使用ください。
- メモリーカードにプロテクトがかかっている場合は、データの書き込みができません。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- データの読み込み中や書き込み中（アクセスランプ点灯中）にメモリーカードを取り出さないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  – 読み込み中や書き込み中にメモリーカードを抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- メモリーカードが取り出せないときは、もう一度奥まで押し込んでいったん離し、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカードスロットは、対応するカードの書き込み、読み出し以外の用途ではご使用になれません。
- メモリーカードを持ち歩く場合には、必ず専用ケースに入れるなどして、静電気の影響を受けることのないようご注意ください。
- メモリーカードスロットの中に異物を入れないようにしてください。

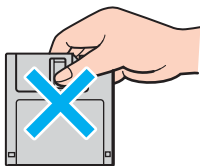
メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

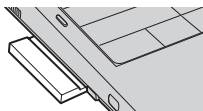
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

  - PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHz（IEEE 802.11a）ワイヤレスLAN機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。

- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生した場合、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。
- IEEE 802.11a準拠のワイヤレスLAN機能とIEEE 802.11b/g準拠のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込んでください。
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。本機以外では使用しないでください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

バッテリの交換について

バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き替えについて（ディスクドライブ搭載モデル）

お買い上げ時は、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

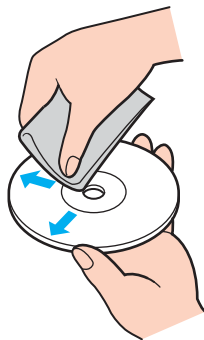
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.html
  をご覧ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを破壊する
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

主な仕様

お客様が選択された商品により仕様が異なります。

お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

本機に付属されているソフトウェア

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。

表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。

□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。

－：ご使用の機種には付属されておりません。

	VGN-G2AAPS
AVエンターテインメント	
Windows Media(R) Player 10	○
ビデオ再生	
WinDVD for VAIO	○
DVD作成	
Roxio DigitalMedia SE 7	○
インターネット・メール	
Microsoft Internet Explorer 6（R）	○
セキュリティー	
Norton Internet Security(TM) 2007	○
ワープロ・表計算	
Microsoft(R) Office Personal 2007	○／－*
Microsoft(R) Office Professional 2007	○／－*
Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007	○／－*
実用ツール	
Adobe(R) Reader(R) 8.1	○
FeliCa（フェリカ）	
Edy Viewer V2.1	○／－*
SFCard Viewer	○／－*
設定・ユーティリティ	
バイオの設定	○
サポート・ヘルプ	
VAIO ハードウェア診断ツール	○
VAIO リカバリユーティリティ	○
VAIO ハードディスク プロテクション	○／－*

*　ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

使用できるディスクとご注意（ディスクドライブ搭載モデル）

使用できるディスク

◎：再生、記録可能
○：再生のみ可能、記録不可
×：再生、記録不可

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R／RW	◎
DVD-R／RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R／RW	◎
VIDEO CD	○

*1 DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2 DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0／2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1／1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5 DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6 DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2／12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状ディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW／DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／CD-R／CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW／DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
  （CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R／CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R DL／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

【I】

【L】

【N】

【P】

【R】

【S】

【U】

【V】

【W】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- MEMORY STICK、"Memory Stick"、"メモリースティック"、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、"マジックゲート メモリースティック"、"メモリースティック PRO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG"、"メモリースティック マイクロ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。

  i.LINKとi.LINKロゴ" "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン!」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。

- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc. Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本マニュアルで登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

受付時間
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

本機の型名をご確認ください。（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報お取り扱いについては、My VAIOの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
(0466) 38-1410
ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク
使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000
※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-274-829-**02** (1)